

令和2年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

## 1 アンケートの概要

調査対象者	令和2年度 市政モニター 198人
調査期間	令和2年7月1日(水)～令和2年7月15日(水)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市の選挙啓発及び投票率向上について ② 新居浜市の水道事業について ③ 新居浜市における地球温暖化対策の取り組みについて

回答率

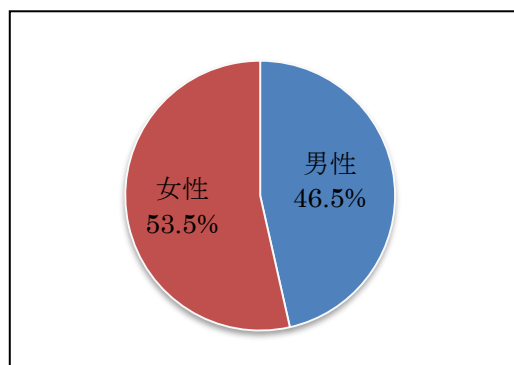
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
①	198	190	96.0%
②	198	188	94.9%
③	198	188	94.9%

## 2 市政モニター内訳(※令和2年7月1日時点)

<性別>

(単位:人)

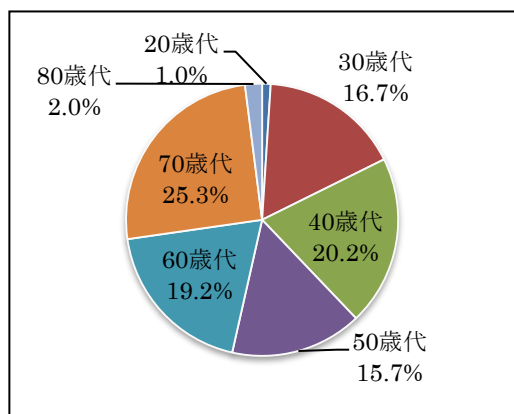
男性	92 (46.5%)
女性	106 (53.5%)
合計	198 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	0	2 (1.0%)
30歳代	7	26	33 (16.7%)
40歳代	12	28	40 (20.2%)
50歳代	12	19	31 (15.7%)
60歳代	18	20	38 (19.2%)
70歳代	37	13	50 (25.3%)
80歳以上	4	0	4 (2.0%)



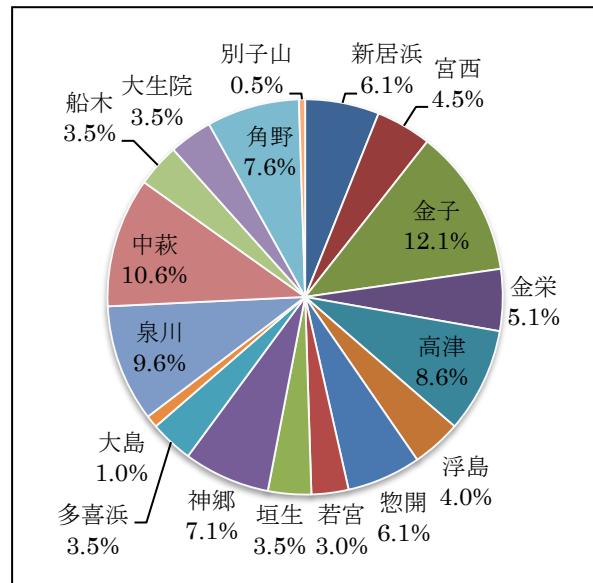
※年齢は令和2年4月1日時点

<居住地域別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	1	11	12 (6.1%)
宮西	2	7	9 (4.5%)
金子	12	12	24 (12.1%)

金栄	3	7	10 (5.1%)
高津	11	6	17 (8.6%)
浮島	6	2	8 (4.0%)
惣開	3	9	12 (6.3%)
若宮	2	4	6 (3.0%)
垣生	3	4	7 (3.5%)
神郷	6	8	14 (7.1%)
多喜浜	1	6	7 (3.5%)
大島	2	0	2 (1.0%)
泉川	12	7	19 (9.6%)
中萩	12	9	21 (10.6%)
船木	4	3	7 (3.5%)
大生院	3	4	7 (3.5%)
角野	8	7	15 (7.6%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



＜回答方法 種別＞

(単位：人)

郵送モニター	103 (52.0%)
Eメールモニター	95 (48.0%)
合計	198 (100.0%)

＜選任方法 種別＞

(単位：人)

公民館推薦	93 (47.0%)
公募	105 (53.0%)
合計	198 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ① 新居浜市の選挙啓発及び投票率向上について

【調査趣旨】

新居浜市では、市民の政治や選挙に対する関心を高めたり、投票率の向上を目的として、選挙の啓発や各投票所における投票環境の向上等に努めています。

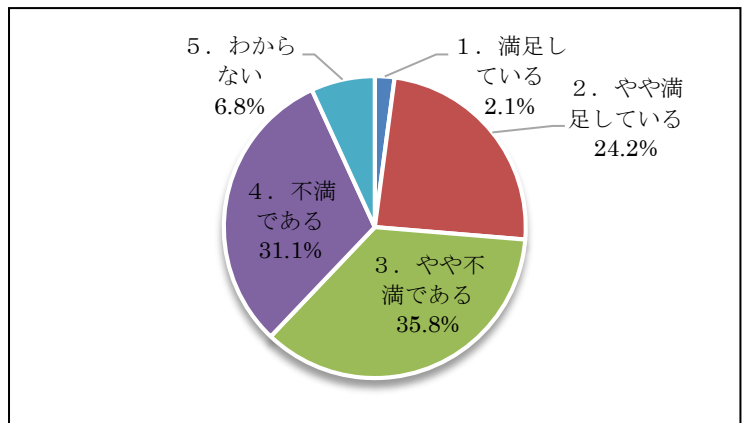
今回のアンケートでは、新居浜市の有権者を対象として、皆さんの選挙や投票に対する意識や意見を調査し、今後の更なる選挙啓発や投票率の向上等に活用していきたいと考えています。

(担当：選挙管理委員会事務局)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたは、現在の政治についてどう思いますか。(1つ選択)

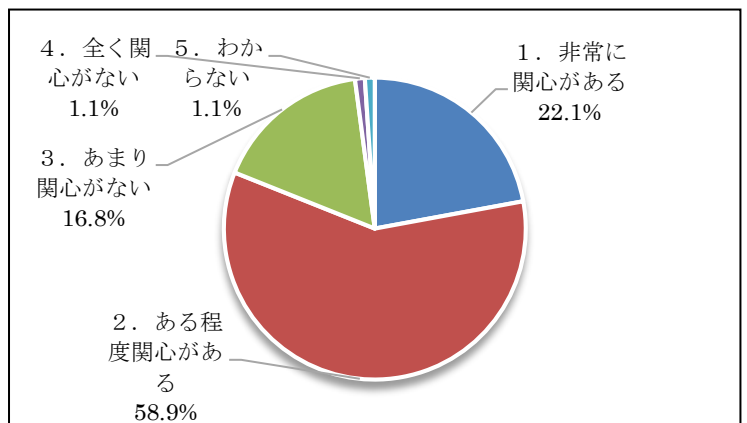
1. 満足している	4人
2. やや満足している	46人
3. やや不満がある	68人
4. 不満である	59人
5. わからない	13人
合計	190人



「3. やや不満である」(35.8%)と答えた方が最も多く、「4. 不満である」(31.1%)と合わせて、全体の6割以上が、現在の政治に不満を抱かれています。

問3. あなたは、政治に関心がありますか。(1つ選択)

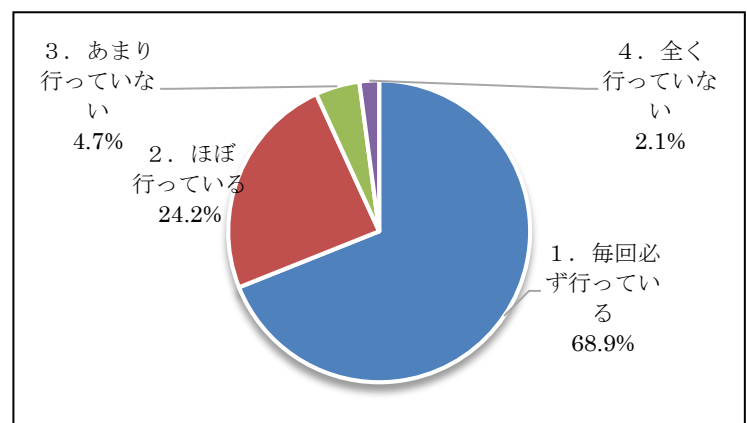
1. 非常に関心がある	42人
2. ある程度関心がある	112人
3. あまり関心がない	32人
4. 全く関心がない	2人
5. わからない	2人
合計	190人



「2. ある程度関心がある」(58.9%)と答えた方が最も多く、「1. 非常に関心がある」(22.1%)と合わせて、全体の約8割が政治に関心を持っています。

問4. あなたは、投票(期日前投票等を含む)に行っていますか。(1つ選択)

1. 毎回必ず行っている	131人
2. ほぼ行っている	46人
3. あまり行っていない	9人
4. 全く行っていない	4人
合計	190人

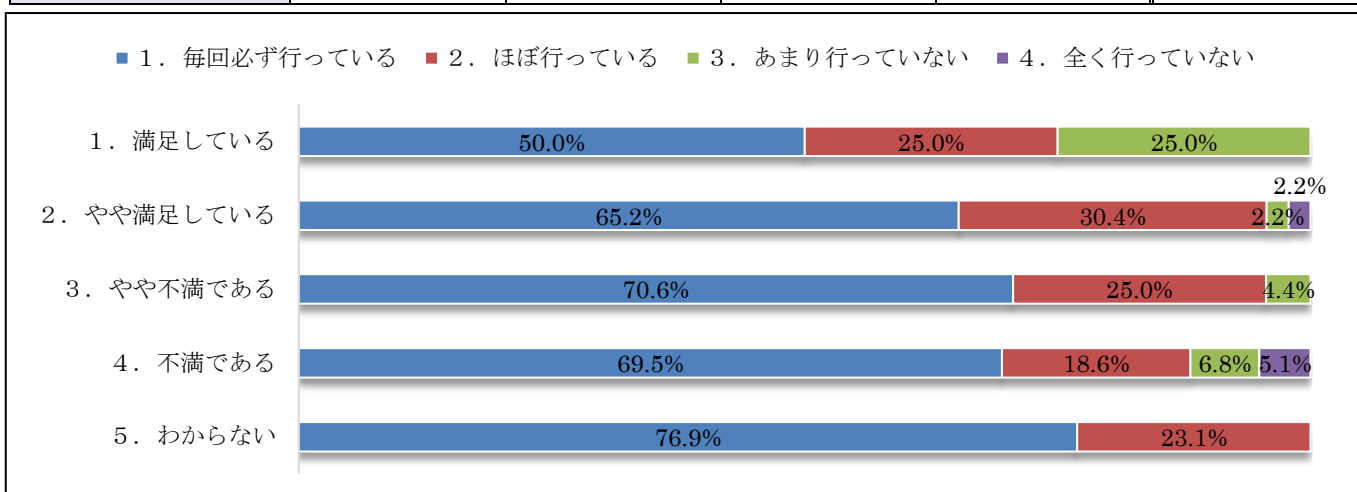


「1. 毎回必ず行っている」(68.9%)と答えた方が最も多く、次いで「2. ほぼ行っている」(24.2%)、「3. あまり行っていない」(4.7%)、「4. 全く行っていない」(2.1%)の順となっています。

政治への満足度（問2）や関心度（問3）と、投票行動（問4）との関連性は次のとおりとなっています。

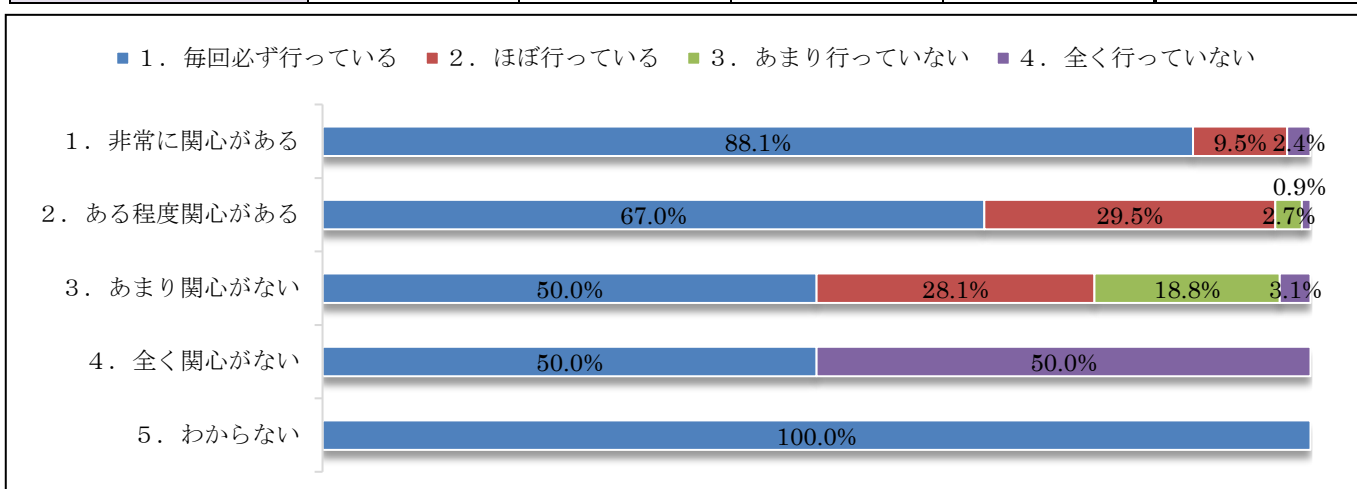
【クロス集計（問2×問4）】

	1. 毎回必ず行っている	2. ほぼ行っている	3. あまり行っていない	4. 全く行っていない	合計
1. 満足している	2人	1人	1人	0人	4人
2. やや満足している	30人	14人	1人	1人	46人
3. やや不満である	48人	17人	3人	0人	68人
4. 不満である	41人	11人	4人	3人	59人
5. わからない	10人	3人	0人	0人	13人
合計	131人	46人	9人	4人	190人



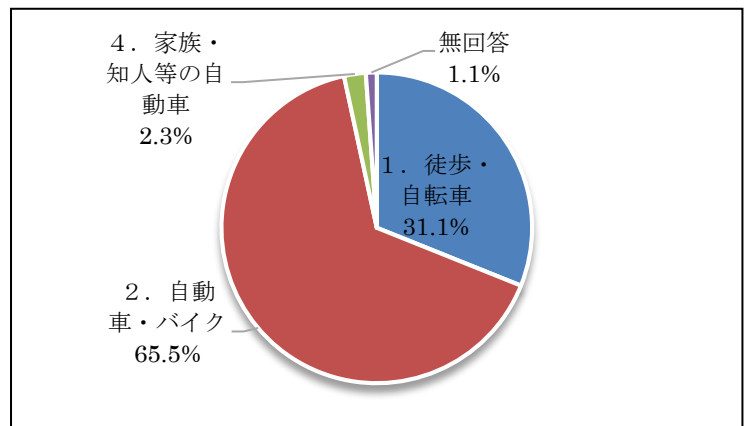
【クロス集計（問3×問4）】

	1. 毎回必ず行っている	2. ほぼ行っている	3. あまり行っていない	4. 全く行っていない	合計
1. 非常に関心がある	37人	4人	0人	1人	42人
2. ある程度関心がある	75人	33人	3人	1人	112人
3. あまり関心がない	16人	9人	6人	1人	32人
4. 全く関心がない	1人	0人	0人	1人	2人
5. わからない	2人	0人	0人	0人	2人
合計	131人	46人	9人	4人	190人



問5. 問4で「1. 毎回必ず行っている」「2. ほぼ行っている」と答えた方にお尋ねします。  
投票所までの主な移動手段を教えてください。(1つ選択)

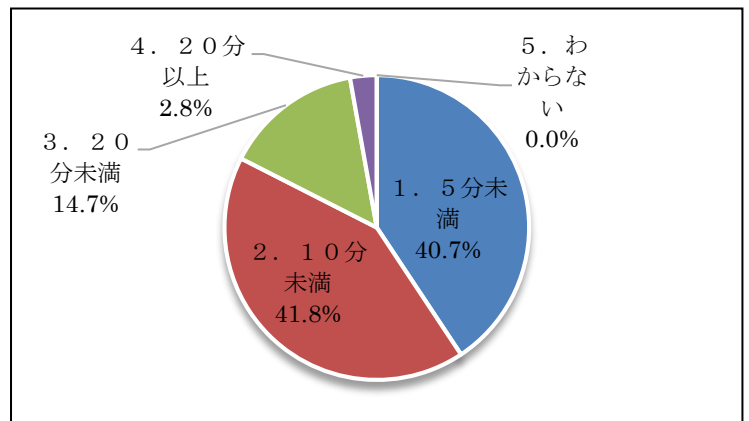
1. 徒歩・自転車	55人
2. 自動車・バイク	116人
3. 公共交通機関(バス等)	0人
4. 家族・知人等の自動車	4人
5. タクシー	0人
6. その他	0人
無回答	2人
合計	177人



「2. 自動車・バイク」(65.5%)と答えた方が最も多く、全体の6割を超えています。

問6. 問4で「1. 毎回必ず行っている」「2. ほぼ行っている」と答えた方にお尋ねします。  
投票所までの所要時間(家から投票所まで)を教えてください。(1つ選択)

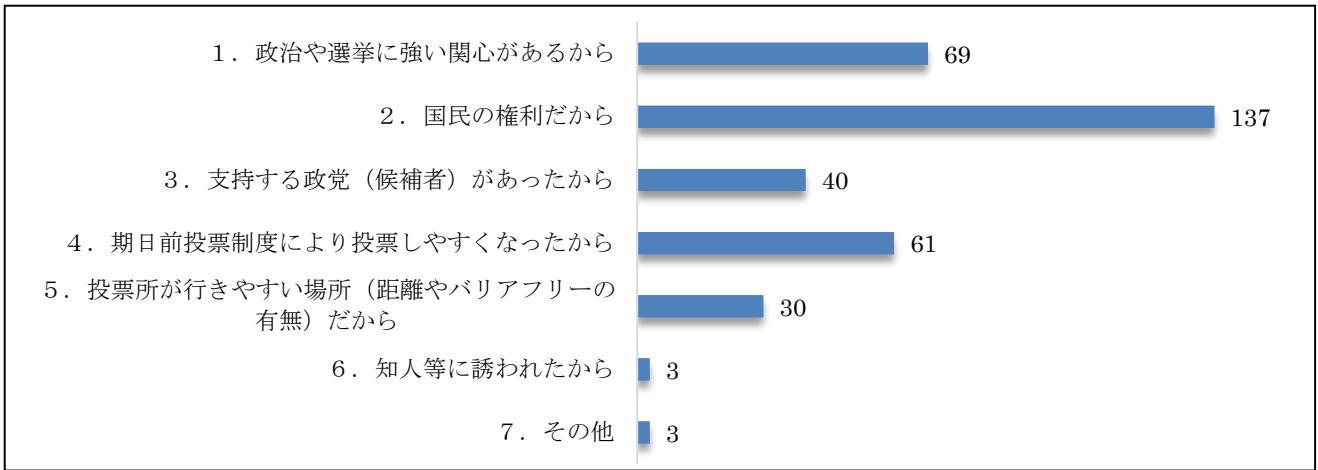
1. 5分未満	72人
2. 10分未満	74人
3. 20分未満	26人
4. 20分以上	5人
5. わからない	0人
合計	177人



「2. 10分未満」(41.8%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 5分未満」(40.7%)、「3. 20分未満」(14.7%)、「4. 20分以上」(2.8%)の順となっています。

問7. 問4で「1. 毎回必ず行っている」「2. ほぼ行っている」と答えた方にお尋ねします。  
投票に行く理由を教えてください。(複数選択)

1. 政治や選挙に強い関心があるから	69人
2. 国民の権利だから	137人
3. 支持する政党(候補者)があったから	40人
4. 期日前投票制度により投票しやすくなったから	61人
5. 投票所が行きやすい場所(距離やバリアフリーの有無)だから	30人
6. 知人等に誘われたから	3人
7. その他	3人



「2. 国民の権利だから」（137人）、「1. 政治や選挙に強い関心があるから」（69人）、「4. 期日前投票制度により投票しやすくなったから」（61人）などが、投票に行く理由として多く挙げられています。

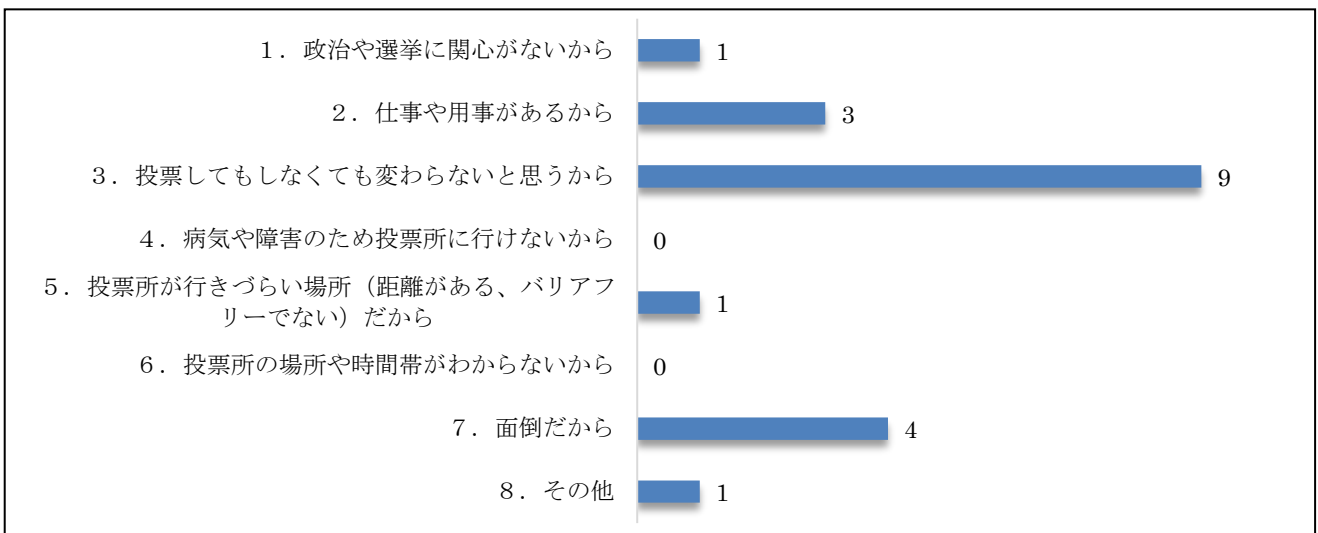
**問8. 問7で「7. その他」と答えた方は、投票に行く理由を教えてください。（自由記入）**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・国民の権利であるとともに、義務でもあるから。
- ・深い理由はないが「選挙は行って投票するもの」と思っているから。

**問9. 問4で「3. あまり行っていない」「4. 全く行っていない」と答えた方にお尋ねします。投票に行かない理由を教えてください。（複数選択）**

1. 政治や選挙に関心がないから	1人
2. 仕事や用事があるから	3人
3. 投票してもしなくても変わらないと思うから	9人
4. 病気や障害のため投票所に行けないから	0人
5. 投票所が行きづらい場所（距離がある、バリアフリーでない）だから	1人
6. 投票所の場所や時間帯がわからないから	0人
7. 面倒だから	4人
8. その他	1人



「3. 投票してもしなくても変わらないと思うから」(9人)、「7. 面倒だから」(4人)、「2. 仕事や用事があるから」(3人)などが、投票に行かない理由として多く挙げられています。

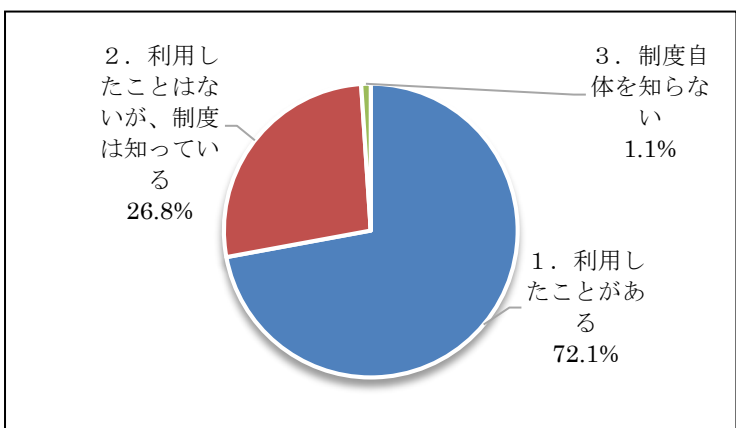
**問10. 問9で「8. その他」と答えた方は、投票に行かない理由を教えてください。(自由記入)**

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・海外在住だったため。投票は可能だが、日本の政治についてあまりわからないまま投票するのはどうかという気持ちがあった。

**問11. 投票日当日に投票へ行けない方のための「期日前投票制度」を利用したことはありますか。(1つ選択)**

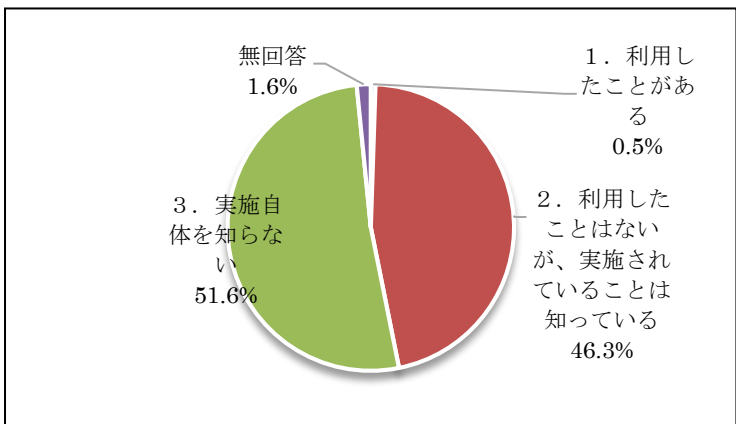
1. 利用したことがある	137人
2. 利用したことはないが、制度は知っている	51人
3. 制度自体を知らない	2人
合計	190人



「1. 利用したことがある」(72.1%)と答えた方が最も多く、全体の7割を超えています。「2. 利用したことはないが制度は知っている」(26.8%)と合わせると、ほぼ全員の方が期日前投票制度をご存じであることがわかりました。

**問12. 若年層の投票率向上と選挙を身近に感じてもらうことを目的に、平成28年7月の参議院議員通常選挙から、「新居浜工業高等専門学校での期日前投票」を実施しています。利用したことはありますか。(1つ選択)**

1. 利用したことがある	1人
2. 利用したことはないが、実施されていることは知っている	88人
3. 実施自体を知らない	98人
無回答	3人
合計	190人

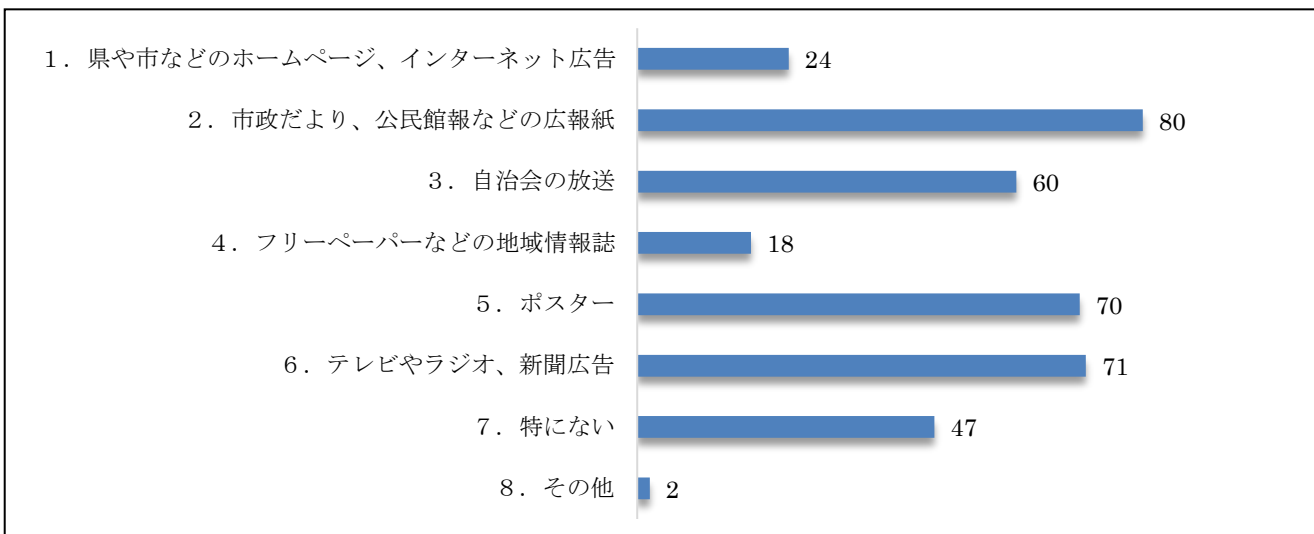


「3. 実施自体を知らない」(51.6%)と答えた方が最も多く、新居浜工業高等専門学校での期日前投票をご存じの方は全体の5割未満であることがわかりました。



問13. これまでの選挙で印象に残っている投票参加への呼びかけがあれば、教えてください。  
(複数選択)

1. 県や市などのホームページ、インターネット広告	24人
2. 市政だより、公民館報などの広報紙	80人
3. 自治会の放送	60人
4. フリーペーパーなどの地域情報誌	18人
5. ポスター	70人
6. テレビやラジオ、新聞広告	71人
7. 特にない	47人
8. その他	2人



「2. 市政だより、公民館報などの広報紙」(80人)、「6. テレビやラジオ、新聞広告」(71人)、「5. ポスター」(70人)、「3. 自治会の放送」(60人)などが、印象に残っている投票参加への呼びかけとして多く挙げられています。

問14. 問13で「8. その他」と答えた方にお尋ねします。印象に残っている投票参加への呼びかけを教えてください。(自由記入)

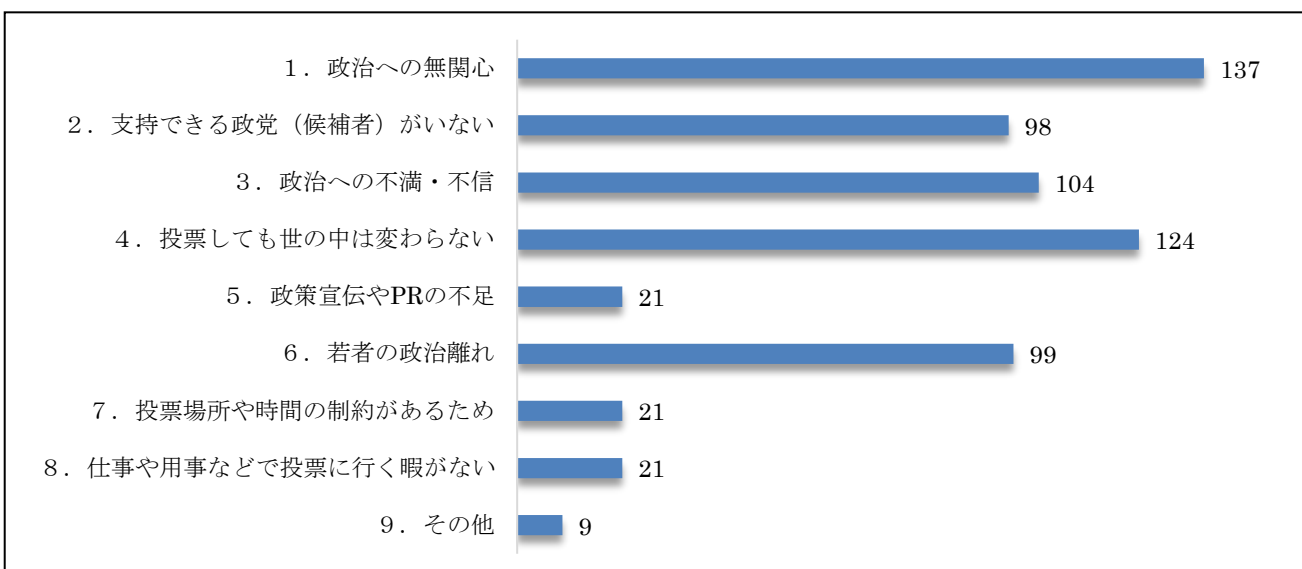
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・選挙への広報活動でティッシュを配布していた事があったが、予算の無駄使いだと思います。お金をかけずに広報や選挙活動をするようになればよいと思う。

問15. 近年、各種選挙での投票率低下が問題となっています。投票率の低下について、その原因は何だと思いますか。(複数選択)

1. 政治への無関心	137人
2. 支持できる政党(候補者)がない	98人

3. 政治への不満・不信	104人
4. 投票しても世の中は変わらない	124人
5. 政策宣伝やPRの不足	21人
6. 若者の政治離れ	99人
7. 投票場所や時間の制約があるため	21人
8. 仕事や用事などで投票に行く暇がない	21人
9. その他	9人



「1. 政治への無関心」（137人）、「4. 投票しても世の中は変わらない」（124人）、「3. 政治への不満・不信」（104人）、「6. 若者の政治離れ」（99人）、「2. 支持できる政党（候補者）がない」（98人）などが、投票率低下の原因として多く挙げられています。

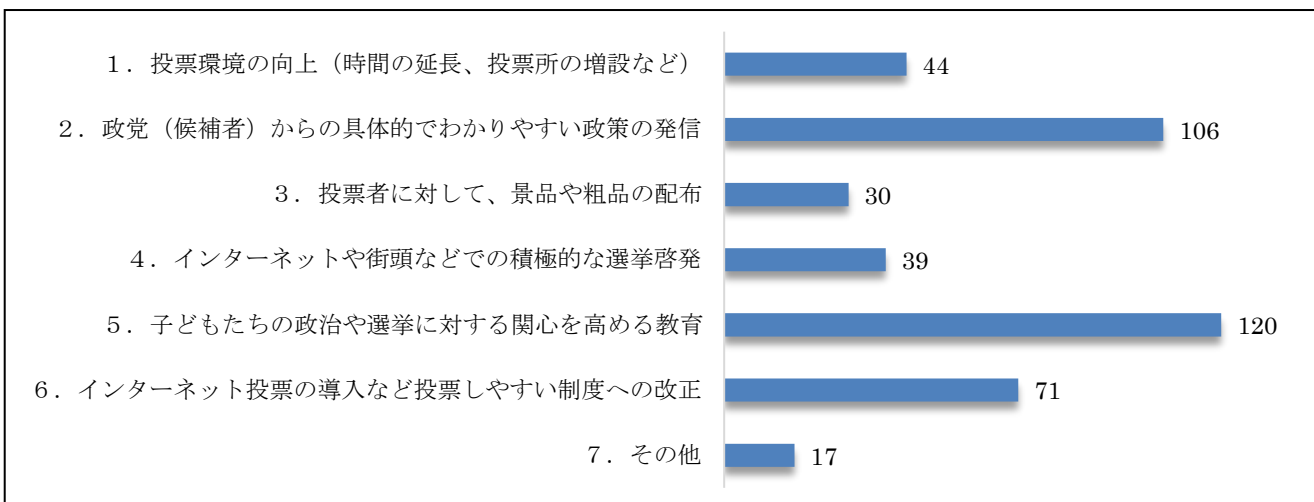
**問16. 問15で「9. その他」と答えた方にお伺いします。投票率低下の原因は何だと思えますか。  
（自由記入）**

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・政治や投票に対する教育不足
- ・参加して世の中を良い方向へ持っていき、という気持ちが少ない。一人ひとりの行動が大事であるという気持ちが少ない。
- ・社会生活での選挙の必要性、重要性の意識の少なさ、認識の甘さでしょうか。時間がかかっても、やはり学校教育しかないのでは。
- ・現政権への不信、魅力ある若い政治家がない。自分の一票で政治が変わることを教える。
- ・投票しても思いが形にならない結果が多い。投票に行っても無駄かと思わせる政治だから。
- ・公約を守ってくれない。
- ・自分の生活への反映が感じられない。誰のために立候補しているのか。自分自身のためとを感じるから期待が薄くなる。
- ・投票率を上げる政策を打っていない。
- ・投票しないことが意思表示だと思っているから。

問17. 投票率を上げるために、何をしたら効果があると思いますか。(複数選択)

1. 投票環境の向上 (時間の延長、投票所の増設など)	44 人
2. 政党 (候補者) からの具体的でわかりやすい政策の発信	106 人
3. 投票者に対して、景品や粗品の配布	30 人
4. インターネットや街頭などでの積極的な選挙啓発	39 人
5. 子どもたちの政治や選挙に対する関心を高める教育	120 人
6. インターネット投票の導入など投票しやすい制度への改正	71 人
7. その他	17 人



「5. 子どもたちの政治や選挙に対する関心を高める教育」(120人)、「2. 政党 (候補者) からの具体的でわかりやすい政策の発信」(106人)、「6. インターネット投票の導入など投票しやすい制度への改正」(71人)などが、投票率を上げるために効果のある方策として多く挙げられています。

問18. 問17で「7. その他」と答えた方にお尋ねします。投票率を上げるために、何をしたら効果があると思いますか。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・政治家が選挙活動期間以外の時期にどんなことをやっているか、実際に知らせるPR方法があれば投票率も上がるのでは。若者をはじめとする政治に関心のない市民と政治家が、和気あいあいと触れ合える場があればいいと思う。
- ・投票しない方は、候補者が誰なのかも全く知らない人が多いと思う。候補者の話を実際に聞いてみて、「こんな人なのか、こう考えているのか」と少しでも思えば、投票に行くと思う。その機会をどう増やしていけるか。高校3年生は選挙権があるのだから、候補者が平等に学校を回ってみるのはどうか。
- ・候補者自身がこまめに選挙区を歩く。
- ・政党が具体的な公約を掲げて、実現する。
- ・公約をわかりやすく、具体的にする。理想的なお題目を言えば言うほど、政治離れする。政策の現状の問題点や何をどう変えたか、メリット・デメリットを数字で表明する。
- ・具体的な政策と早期の実行、実現できなかつたら辞める。点数による評価制を実施する。
- ・もっと真面目に政治を行ってほしい。自分のための政治家が目立つ。

- ・しがらみや過度の街宣に頼るのではなく、有言実行の人物が候補となり、市民の前で討論すれば投票率が多少上がると思う。無言無実行の候補者への失望から投票率が下がっていると思われる。
- ・公民権についての教育時間を増やす。
- ・車がない方、足が悪くて歩けない方に対して、投票所への送迎や家で投票用紙に記入できるようにする。高専だけでなく、他の高校にも投票できる場所を設ける。
- ・影響力のある人（地元のインフルエンサーや企業の社長など）から、投票参加の呼びかけをしてもらう。
- ・難しい問題ですね。政治に無関心だと、候補者から発信しても聞いてすらもらえなかったりするのです。
- ・各企業（会社）が積極的に投票に行くことを指導する。選挙に対する職場内環境を充実させること。
- ・投票率が50～40%を切った選挙は無効にし、再選挙を行うようにする。そうすれば官民あがて、投票率アップに向けて努力するようになる。
- ・3回以上の多選・立候補禁止などにより、候補者が入れ替わるようにしたらよい。
- ・投票者に対する景品や粗品の配布は、やめてほしい。
- ・先に投票率を上げるのではなく、まず何かを変えれば、何もしなくても投票率は上がる。やるべきことを間違っている。

#### 問19. その他、選挙に対するご意見やご要望があればお聞かせください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・選挙の度にいつも思うのは、投票率の低さ。投票に行くことの意義、重要性を認識してもらうことが必要。
- ・投票所までが遠くて行くのが大変なので、もっと近くでできるようにしてほしい。
- ・選挙の環境は良いと思います。選挙会場は豊富にあるし、期日前投票も土日可能、遅い時間までできるので助かっています。投票して良かった、と思える政策活動をお願いしたいところです。
- ・立候補者の公約がわかりやすく具体的で、必ず達成できそうなものなら見る気になります。熱意がなく、ただの就職活動なら見る気が起こりません。力があり、発信力があり、頼りがいのある方の立候補を求めます。
- ・これからを担う子どもたちを大切に考えてくれる候補者が少なく残念です。選挙権のある高齢者をターゲットにするより、少子化をくい止め、地域を発展させるためにも子育て世代が魅力を感じる政策をとってほしい。若い人が選挙に行かないのは、自分たちの生活が良くなるような政策を掲げる人がいないから関心を持ってないのだと思います。
- ・公約を実現できるよう努力してほしい。そのためには、財政の配分を年度によって重点施策を決めて取り組んでほしい。
- ・政治家はいつも他党の揚げ足取りばかりで、国を良くしてくれているように見えない。理想的なことを語るだけで具体的な政策を進めているように見えない。
- ・選挙には割と無関心です。誰に入れても大して進歩はない、という思いこみがあります。汚職、贈賄、不倫などのニュースを見ると余計にそう思います。誠実な議員さんを望んでいます。
- ・立候補している人の顔が見えない。政策などもありきたりで、魅力を感じない。イメージのみで投票することに少し不安がある。
- ・選挙に関心を持ってもらうために、政治家や立候補者のやる気度やアピール力をアップする。立候補年齢を下げて、若い人が立候補すると投票率がアップするかもしれない。
- ・候補者の名前を連呼するような選挙カーは要らない。
- ・もっと誰もが立候補しやすい環境があれば、より政治に興味関心が芽生えると思う。

- ・立候補者が一堂に会して、各々の政策を発表し、それについて議論し合う場を公民館等で実施し、有権者が政策で候補者選びができるようにする。選挙カーでの候補者の名前を連呼する活動をやめる。お金のかからない選挙を考え、実施してほしい。
- ・市政だより等を利用して宣伝していくことで、興味を持たせるようにしていけばよいと思う。
- ・候補者の簡単な政策を比較表にする。
- ・新居浜市では前回の市議選しか経験していないが、候補者の生の声を聞く機会がこんなに少ない市は初めてだった。もっと街頭演説等をしないと、選挙だという実感がわきにくい。候補者が見えない市だと感じた。
- ・地元密着の市議会議員には、選挙権を持つ高校生から高齢者まで、有権者に対して身近に感じられる活動を普段からすることで、議員に対する見方や考え方、行動が変わっていくと思います。政治に関心を深めていけば、選挙に行こうと思う有権者が増え、投票率向上につながると思います。
- ・投票率を上げるために、若者を中心に集めて、政党や選挙管理委員会から話をする、また候補者も参加して若い人たちと意見交換を行うようにするのはどうでしょうか。
- ・「投票に行く」ということをしっかりと覚えさせていくこと。小中高の教育においてもっと具体的な教育をしてほしい。どうすれば、私一人くらい行かなくても、という気持ちに変化するか？
- ・今、日本がどんな状態になっているのか、このままの状態が進むと、どんなことが起きるか等を隠さずに説明し、「自分一人が行っても変わらない」と思う人には、選挙に行かないことは、何をされても従わなくてはならないことを教育する。自分の意見に合う人がいないなら、白紙で意思表示することを啓発すべきと思う。
- ・知事や市長の名前を知らない子どももいるとよく聞きます。政治に関心をを持たせる教育が必要です。
- ・小学校の高学年、中学校で選挙の大切さを教えることも必要、大切だと思います。
- ・小中学生に向けてのわかりやすい政治講座などをPTAと協力して開催してほしい。
- ・子どもは親の背中を見て育つとはよく言ったもので、大人が関心を持って投票所に足を運ぶことが大切だと思います。未来のために。
- ・インターネットでの投票は考えたことがなかったが、例えば候補者のサイトに簡単にリンクして、比較などができる政策を知ったうえで投票しやすいかもしれない。投票に行きはするが、誰が候補者なのかを会場で知ることもある。入場券の封書に候補者名などは入れてはいけないのか。
- ・小さい子どもがいるので、インターネットでの投票を試験的にでもいいので、進めていただきたい。
- ・身元確認がしっかりできる方法で、スマホを使って投票できたりするとよい。テレビのdボタンからのQRコードを読み取っての投票など。
- ・投票所に行かなくても投票できる制度をつくる。特に高齢者は、電話や個別に家を回って投票などを考える。
- ・インターネット世代の人たちは、インターネットでの投票で投票率増になると思うが、高齢者の皆さんが投票しやすいように、場所や交通の便、タクシーの利用等が容易くできるようにしてほしい。
- ・投票に行くのは国民の権利だから、行くのは当たり前のことだが、ポイント制にして、ポイントがたまると何か当たる等にすれば、少しは投票率が上がるかもしれない。
- ・投票率を上げることのみを考えるのであれば、例えば商店街で使用できる買い物券等を配布するなど考えてはどうでしょうか。
- ・投票時間については、1時間ほど早く終えて人件費を節約する方が良いのでは。
- ・選挙って本当に正当に選べますか？そもそも、そこに疑問があります。
- ・この市政モニターに自分から応募するような人は、選挙に行っていると思いますよ。
- ・どんなことをしても選挙に行かない人は、行かない。街頭で演説するのではなく、広場的なところで演説してほしい。

<まとめ>

モニターの皆さんからたくさんのご回答・ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

今回のアンケートでは、「あなたは、投票に行っていますか。」との問いに対して、「毎回必ず行っている」「ほぼ行っている」と回答した方が全体の9割を超えており、回答内容やご意見については、『投票に行っている人』からの目線でのアンケート結果となりました。投票に行く理由についての質問（複数回答可）については、「国民の権利だから（137人）」が最多回答であり、次に「政治や選挙に強い関心があるから（69人）」「期日前投票制度により投票しやすくなったから（61人）」と続き、選挙や政治に対する強い意識と関心を感じるほか、期日前投票所の設置により投票環境の向上と利便性が図られていることがわかりました。また、『期日前投票制度』を利用したことがありますか。」との質問に対し、「利用したことがある（72.1%）」「利用したことはないが、制度は知っている（26.8%）」との回答を得ており、今回のアンケートではほぼ全員の方が『期日前投票制度』を知っていることがわかりました。一方で、「新居浜工業高等専門学校での期日前投票」を利用したことがあるかとの質問に対しては、「利用したことがある（0.5%）」「利用したことはないが、実施されていることは知っている（46.3%）」にとどまり、半数以上の方が「新居浜工業高等専門学校での期日前投票」を知らないという結果から、今後の啓発や宣伝、周知方法について検討すべき課題だと感じています。

次に、「投票率の向上のために、何をしたら効果があると思いますか。」との質問に対して、「子どもたちの政治や選挙に対する関心を高める教育（120人）」が最多回答であり、「政党（候補者）からの具体的でわかりやすい政策の発信（106人）」、「インターネット投票の導入など投票しやすい制度への改正（71人）」と続き、主権者教育の必要性を考えている方多いことがわかりました。また、投票率の低下の原因について尋ねた設問でも、「政治への無関心（137人）」、「投票しても世の中は変わらない（124人）」、「政治への不満・不信（104人）」、「若者の政治離れ（99人）」と政治や選挙に対する意識、関心を問題視している方が多い印象でした。

今回いただいたご回答・ご意見等につきましては、今後の選挙啓発や投票率向上に向けた取り組みの中で活用させていただきます。今後とも適正な選挙の運営・執行と、さらなる選挙の啓発に努めてまいりたいと思います。

（担当：選挙管理委員会事務局）

## テーマ② 新居浜市の水道事業について

### 【調査趣旨】

新居浜市の水道は、昭和31年（1956年）に給水を開始して以来、皆さまの生活に必要な安全でおいしい水を安定して供給するため、水道施設の拡大・整備を進めてまいりました。

水道事業の経営は「独立採算制」で、現時点では黒字を確保しておりますが、人口減少や節水意識の高まりにより使用水量は年々減少し、料金収入の減少が続いております。一方、水道施設の老朽化への対応や大規模災害に備えるための費用は増加傾向にあります。このような中、将来にわたって持続的に安全・安心な水を供給できるよう、必要な料金収入の確保と効率的な経営に取り組んでいく必要があります。

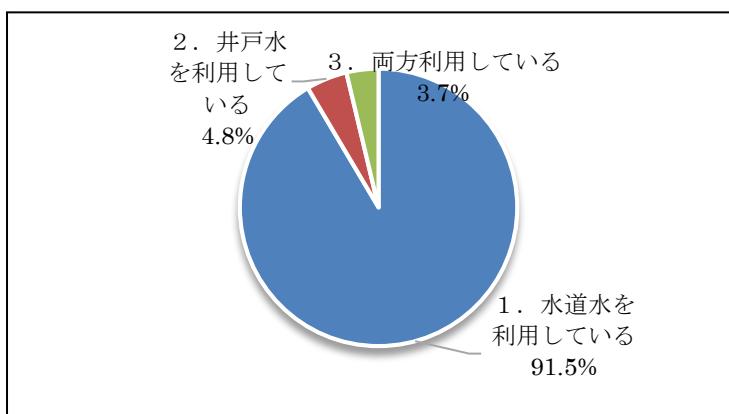
今回のアンケートでは、市政モニターの皆さまに新居浜市の水道事業に対する意識やご意見をお聞きし、中長期的な経営方針策定の参考にさせていただきたいと考えております。

(担当課：企業経営課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

### 問2. 水道水と井戸水のどちらを利用していますか。(1つ選択)

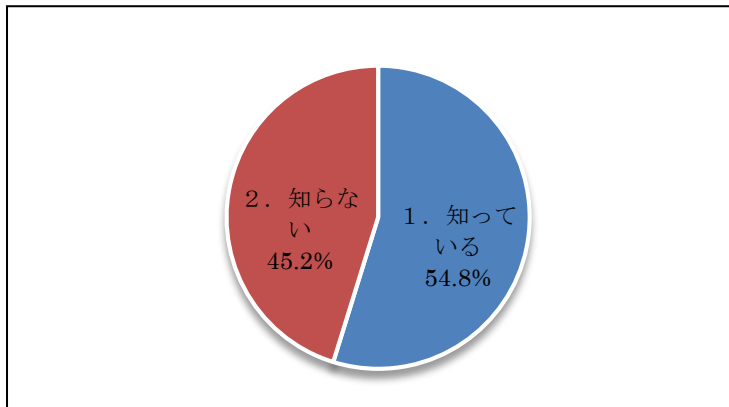
1. 水道水を利用している	172人
2. 井戸水を利用している	9人
3. 両方利用している	7人
合計	188人



「1. 水道水を利用している」(91.5%)と答えた方が、全体の約9割となっています。

### 問3. 本市の水道水は、市内22か所の井戸からくみ上げた地下水で100%まかなわれており、厚生労働省おいしい水研究会が示す「おいしい水」の要件をすべて満たす良質な水であることをご存知でしたか。(1つ選択)

1. 知っている	103人
2. 知らない	85人
合計	188人



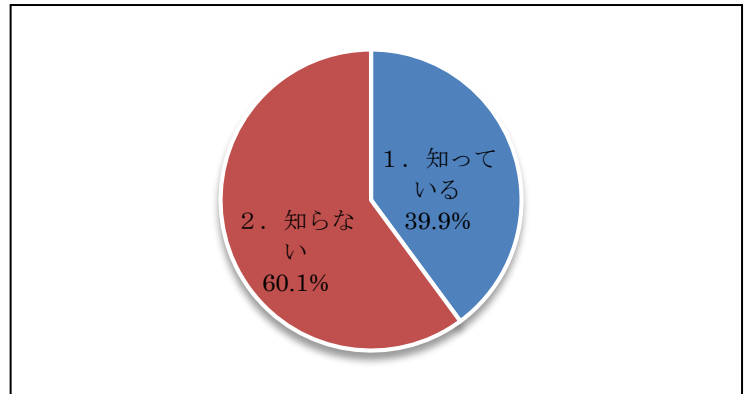
「1. 知っている」(54.8%)と答えた方が、「2. 知らない」(45.2%)よりやや多くなっています。

問4. 本市では、安全で良質な水道水の基となる水源の水質検査について、法律で定められた水質基準項目のほかに目標設定項目（※）についても検査し、集中監視制御システムにより24時間監視を行っていることをご存知でしたか。（1つ選択）

（※）目標設定項目

より良い水質を追求するため、厚生労働省が目標設定している水質管理上、注意すべき項目のこと

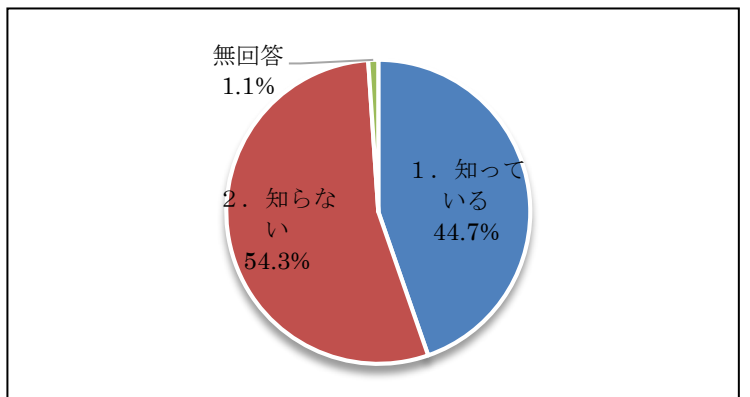
1. 知っている	75 人
2. 知らない	113 人
合計	188 人



「1. 知らない」(60.1%)と答えた方が多く、全体の6割を超えています。

問5. 水道事業の経営は「独立採算制」で行われており、税金ではなく皆さまにお支払いいただく水道料金からすべての経費をまかなっていることをご存知でしたか。（1つ選択）

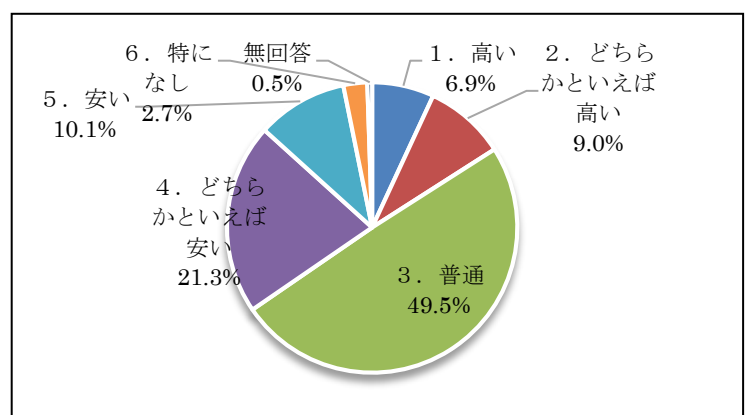
1. 知っている	84 人
2. 知らない	102 人
無回答	2 人
合計	188 人



「2. 知らない」(54.3%)と答えた方が、「1. 知っている」(44.7%)よりやや多くなっています。

問6. 水道料金（下水道使用料を除く）について、電気料金やガス料金、携帯電話料金などと比べてどう感じますか。（1つ選択）

1. 高い	13 人
2. どちらかといえば高い	17 人
3. 普通	93 人
4. どちらかといえば安い	40 人
5. 安い	19 人
6. 特になし	5 人
無回答	1 人
合計	188 人



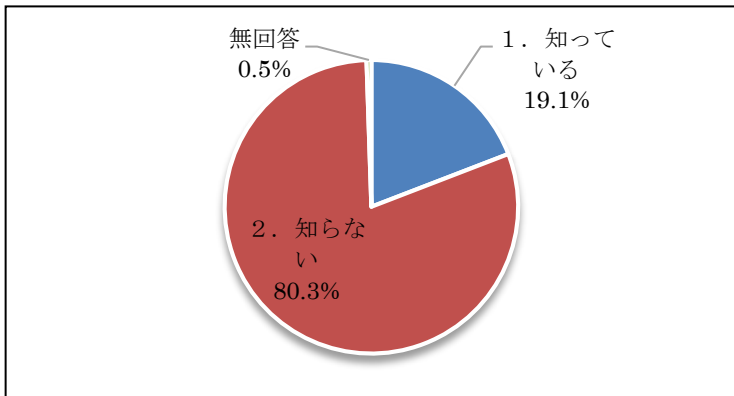


「3. 普通」(49.5%)と答えた方が最も多く、次いで「4. どちらかといえば安い」(21.3%)、「5. 安い」(10.1%)、「2. どちらかといえば高い」(9.0%)、「1. 高い」(6.9%)の順となっています。

問7. 本市の水道料金(家庭用)は、平成9年以降23年間値上げをしておらず、県内11市の中で最も安価な料金であることをご存知でしたか。(1つ選択)

(参考) 新居浜市: 2,018円      平均(県内11市): 3,123円  
 ※20㎡あたり(税込)      令和2年4月1日現在

1. 知っている	36人
2. 知らない	151人
無回答	1人
合計	188人

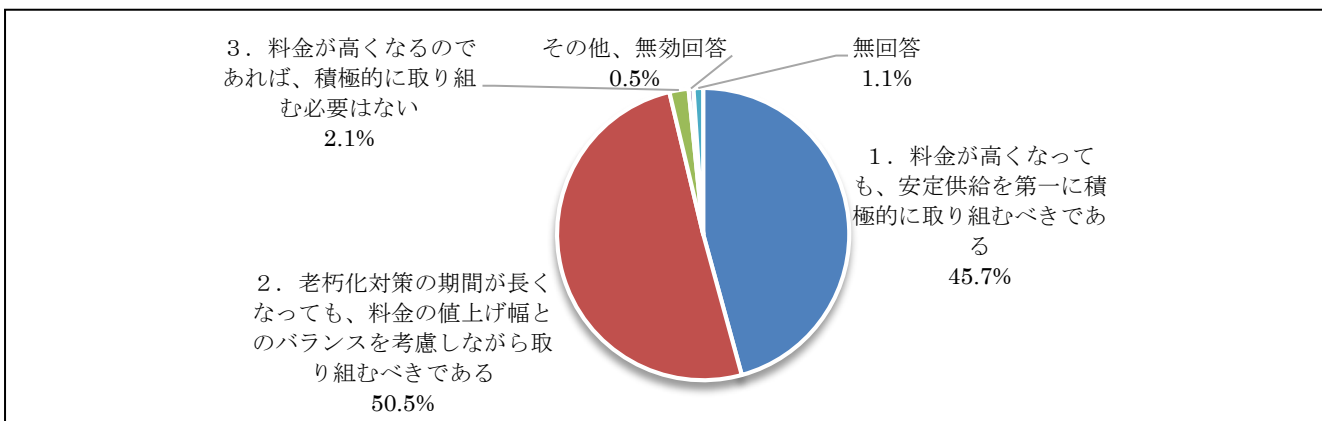


「1. 知らない」(80.3%)と答えた方が多く、全体の8割を超えています。

問8. 高度経済成長期(～昭和45年)に整備された多くの水道施設が耐用年数を迎え、昭和50年代から本格的に敷設された水道管の老朽化が進んできています。水道管の老朽化が進むと漏水等が発生するリスクが高まり、水道水の安定供給が困難となるおそれがありますが、その対策には多額の費用が必要です。

そのため、現行の料金水準では十分な対応が困難となりますが、老朽化対策への取り組みについてどう思いますか。(1つ選択)

1. 料金が高くなっても、安定供給を第一に積極的に取り組むべきである	86人
2. 老朽化対策の期間が長くなっても、料金と値上げ幅とのバランスを考慮しながら取り組むべきである	95人
3. 料金が高くなるのであれば、積極的に取り組む必要はない	4人
その他・無効回答	1人
無回答	2人
合計	188人



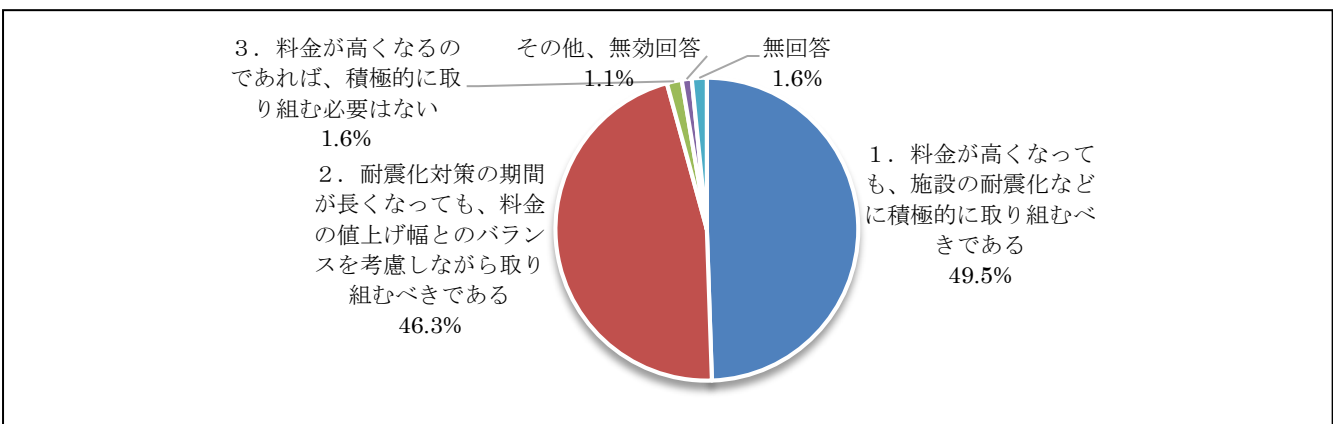
「2. 老朽化対策の期間が長くなっても、料金と値上げ幅とのバランスを考慮しながら取り組むべきである」(50.5%)と答えた方が最も多く、「1. 料金が高くなっても、安定供給を第一に積極的に取り組むべきである」(45.7%)よりやや多くなっています。

「3. 料金が高くなるのであれば、積極的に取り組む必要はない」(2.1%)と答えた方は、全体の2%程度にとどまっています。

**問9. 東日本大震災や近年の豪雨災害などでは水道施設にも大きな被害が出ましたが、今後本市においても南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生が懸念されています。耐震化が進まないと災害時に長時間の断水等の発生が危惧されるため、耐震化対策の必要性が高まっていますが、その対策には多額の費用が必要です。**

そのため、現行の料金水準では十分な対応が困難となりますが、災害対策への取り組みについてどう思いますか。(1つ選択)

1. 料金が高くなっても、施設の耐震化などに積極的に取り組むべきである	93人
2. 耐震化対策の期間が長くなっても、料金と値上げ幅とのバランスを考慮しながら取り組むべきである	87人
3. 料金が高くなるのであれば、積極的に取り組む必要はない	3人
その他・無効回答	2人
無回答	3人
合計	188人



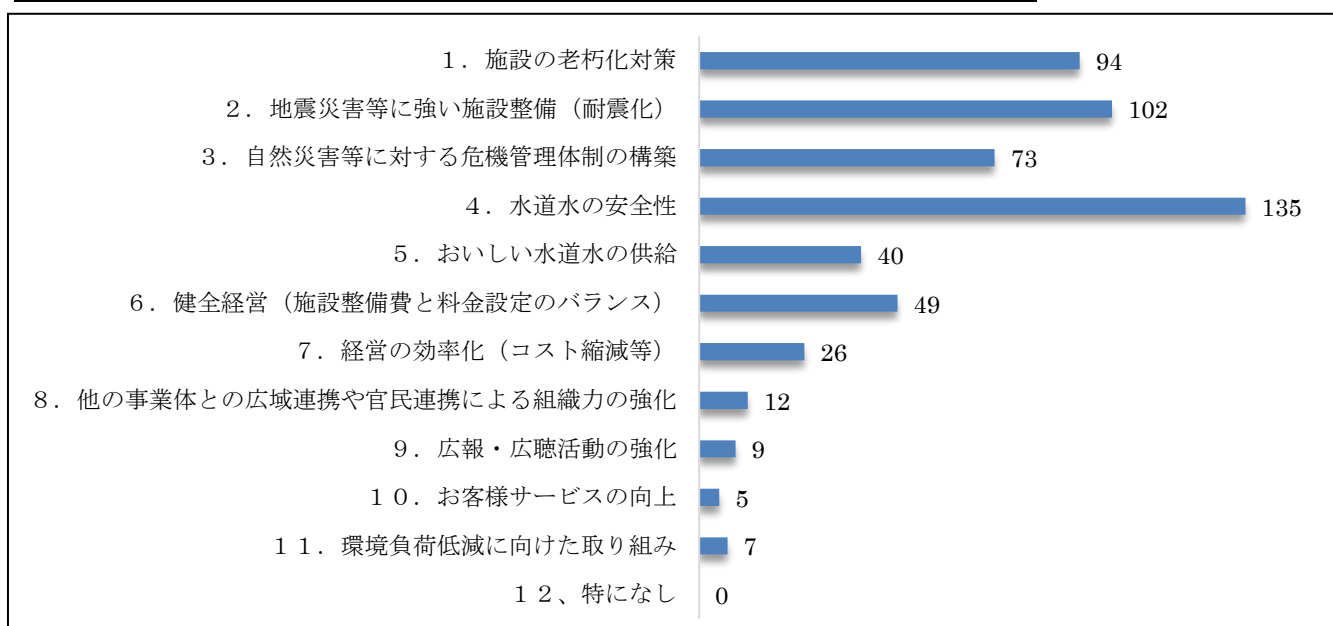
「1. 料金が高くなっても、施設の耐震化などに積極的に取り組むべきである」(49.5%)と答えた方が最も多く、「2. 耐震化対策の期間が長くなっても、料金の値上げ幅とのバランスを考慮しながら取り組むべきである」(46.3%)よりやや多くなっています。

「3. 料金が高くなるのであれば、積極的に取り組む必要はない」(1.6%)と答えた方は、全体の2%以下にとどまっています。

**問10. 本市の水道事業で重要だと思うことは何ですか。(3つまで選択)**

1. 施設の老朽化対策	94人
2. 地震災害等に強い施設整備(耐震化)	102人
3. 自然災害等に対する危機管理体制の構築	73人

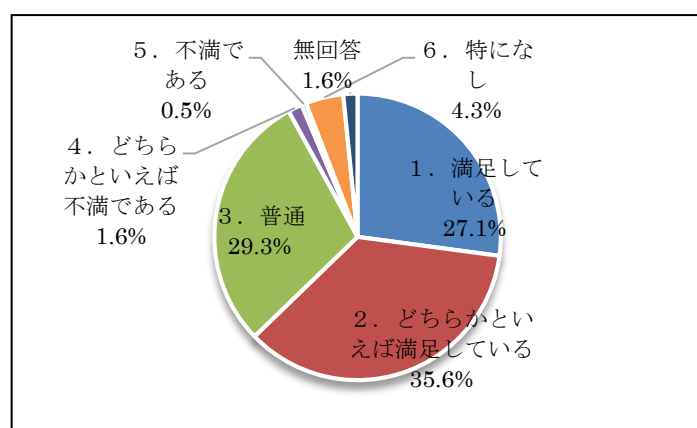
4. 水道水の安全性	135 人
5. おいしい水道水の供給	40 人
6. 健全経営（施設整備費と料金設定のバランス）	49 人
7. 経営の効率化（コスト縮減等）	26 人
8. 他の事業者との広域連携や官民連携による組織力の強化	12 人
9. 広報・広聴活動の強化	9 人
10. お客様サービスの向上	5 人
11. 環境負荷低減に向けた取り組み	7 人
12. 特になし	0 人



「4. 水道水の安全性」（135 人）、「2. 地震災害等に強い施設整備（耐震化）」（102 人）、「1. 施設の老朽化対策」（94 人）、「3. 自然災害等に対する危機管理体制の構築」（73 人）などが、新居浜市の水道事業における重要な事柄として多く挙げられています。

### 問 1 1. 本市の水道サービス全般についてどう思いますか。（1つ選択）

1. 満足している	51 人
2. どちらかといえば満足している	67 人
3. 普通	55 人
4. どちらかといえば不満である	3 人
5. 不満である	1 人
6. 特になし	8 人
無回答	3 人
合計	188 人



「1. どちらかといえば満足している」（35.6%）と答えた方が最も多く、次いで、「3. 普通」（29.3%）、「1. 満足している」（27.1%）、「6. 特になし」（4.3%）の順となっています。

## 問12. 本市の水道事業等について、ご意見等があればご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・水は生きていくために絶対必要なものです。安全・安定供給を維持する対策を講じてほしい。
- ・生活に欠かせないインフラなので、水質の維持と安定した安いコストを実現するために合理化、効率化を推進すべき。
- ・水道事業について知らないことが多かった。もっと周知した方がよいと思います。
- ・おいしい水のこともっと市民にPRしてほしい。
- ・新居浜市の水道利用の環境がかなり整っていることを知りました。市民のみなさんにもっとアピールすればよいのに、と思います。
- ・新居浜市の水道水は100%地下水でおいしく、安全性もあり、全国に自慢できる素晴らしい水だと思います。もっと市内はもちろん全国にもアピールしていけばよいのでは。地下水だということを知らない人が、市内でもたくさんいます。
- ・新居浜や西条の飲料水はとてもおいしいと思います。それに安価でとてもありがたく思います。
- ・新居浜市の水が、西条に負けない位であることを、もっと知ってもらう必要があると思います。
- ・新居浜市の水道水のおいしさの秘密は、100%地下水で供給されていること。市民として大変嬉しく誇りに思います。水道事業の経営に必要な経費の捻出方法の一つとして、新居浜発の「おいしい龍神の水」を積極的に販売することを提案します。
- ・今年、新居浜に引っ越してきましたが、水道水を飲料水として使用してよいのかどうかかわからず、水を購入しています。その辺りがわかると安心して利用できます。
- ・新居浜で生まれ育ち、他県で就職している子どもたちが、新居浜の水はおいしいと改めて感じているようです。美味しく安心して毎日飲むお水をありがとうございます。
- ・昨年度の市政モニター活動で水道施設見学に参加し、新居浜市の水道料金の安さ、安全性に驚いた。できれば、一般でも施設見学ができる方法を市政だより等で知らせてほしい。
- ・新居浜の水は、大変おいしいと思っています。他県からの来客者からも、新居浜の水はおいしいと言われます。施設の老朽化は不具合が起きないうちに解決した方がよいと思う。値上げになっても仕方がない。
- ・田舎の水道水はおいしいと聞くので、楽しみにしていましたが、おいしくありません。水道代は、全国的に見て平均より少し安い程度かと思っています。値上げは高齢者にとっては厳しいと思います。何もかも値上げというのは納得できません。300円以下とか、一斉に1回限りで1,000円徴収するとか、長く負担させることをしなければ市民は納得するのではないのでしょうか。
- ・新居浜市の水道水はおいしいと思っているので、このままでよいと思う。しかし、全国的な問題である配管などの老朽化に対する対策は、早目に対策を練ってほしい。
- ・老朽化・災害時の備えなど、水害は怖いので、いろいろ整備しないといけないところは、早急に手をつけてもらいたいです。
- ・50年以上前の水道管を使っている我が家としては、色々と不安です。今一度、市内の古い水道管の見直しをしてもらいたいです。
- ・老朽化や災害への対策はぜひお願いしたいが、急に料金が上がると困るかもしれない。バランスを考慮して、よろしく願います。
- ・もともと他市より安いことは知っていたので、値上げはやむを得ないと考える。ただし、値上げの際には、多量に消費するほど単価も上がるように、多くを使用するところへ負担を多くする仕組みにしてほしい。
- ・水道料金を値上げして、設備改修費用をまかなうしか方法はないのでしょうか？

- ・税金を投入して一刻も早く施設整備を行うことが最優先だと思う。
- ・今後の水道施設の整備を進める上で、市民から徴収する水道料金を上げることは必要だと思うが、税金からもそのための予算を計上することを考える必要があるように思う。
- ・老朽化している施設の整備には、水道料金だけでなく税金を使ったらよいと考えます。水道料金が高くなると使用量を控えるようになるので反対です。
- ・施設や配管の老朽化は、設置された時点で想定されるものです。23年間値上げせず、県内一安価な水道料金なので、老朽化・耐震化対策のために値上げしても良いですかと質問されても、なぜ徐々に値上げをしなかったのか疑問です。人口減少、節水等で料金収入が減っているということは、値上げの場合も負担額が増えるということだと思います。これからの水道事業方針、経営方針の改善が必要だと思います。
- ・水道施設の耐震化は必要であると思います。合わせて、各家庭までの配管、パイプと言うのか、その内壁の衛生面が気になりますが、検査体制はどうなっているのでしょうか。
- ・料金は安いと思います。雨水を中水として利用する方法や屋根に貯水する等を公共施設の新築時に検討してはどうでしょうか。
- ・水質管理している場所や点検記録、老朽化の現状に対する更新計画は市民に開示されていますか。今は映像が主流です。現状の問題点を毎年開示してこそ、費用負担の話につながると思います。
- ・道路整備工事のすぐ後で、水道管の入れ替えをして道路に段差ができた。水道工事の後始末をする時に道路を整備したら、金銭的にも周りの住民のためにもよいと思うので、関係課で連携をとってほしい。

#### <まとめ>

本アンケート結果によると、①本市の水道水が地下水で100%まかなわれており、厚生労働省おいしい水研究会が示す「おいしい水」の要件を満たしていることを知らない方が45.2%、②水質検査について、法律で定められた水質基準項目のほかに目標設定項目についても検査し、24時間監視を行っていることを知らない方が60.1%、③本市の水道料金（家庭用）が、県内11市の中で最も安価な料金であることを知らない方が80.3%と、本市の良好な水道環境を市民に周知できていないことがわかりました。自由記入欄にも「もっとPRを」という意見が多く、より一層周知、PRに力を入れていく必要があります。

また、老朽化対策・災害対策については、ともに「料金が高くなっても、積極的に取り組むべきである」または「対策の期間が長くなっても、値上げ幅とのバランスを考慮しながら取り組むべきである」と答えた方が全体の95%を超えており、時代の潮流に合わせて対策を強化していく必要があります。

今回のアンケート調査結果を、中長期的な経営方針（新水道ビジョン）の策定の参考にし、将来にわたって持続的に安全・安心な水道水を市民の皆様にお届けできるよう努めてまいります。

（担当課：企業経営課）

### テーマ③ 新居浜市における地球温暖化対策の取り組みについて

#### 【調査趣旨】

新居浜市では、地球温暖化対策を推進するため、平成25年3月に「新居浜市地球温暖化対策地域計画」を策定し、本市の温室効果ガス排出量の削減に関する目標及び目標達成に向けた取組などについて定めています。

今年度は本計画の中期目標年度となっており、これまでの取組内容や実績などを踏まえ、より効果的・効率的な計画への見直しを予定しているところです。

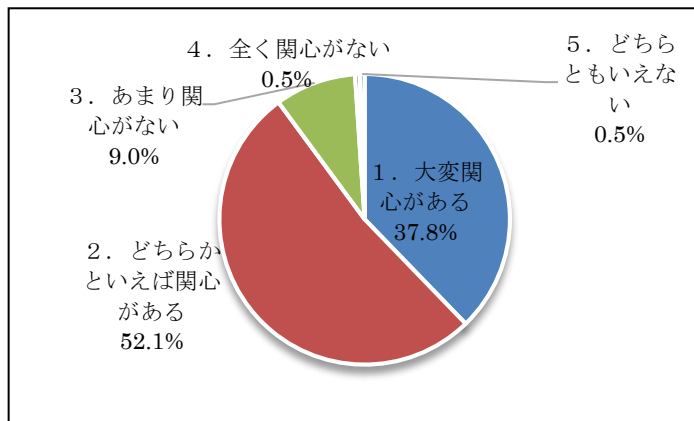
そこで、今回のアンケートでは、市民の皆さんの地球温暖化に対する意識や日常生活における環境活動などについて調査し、今後の計画に活用していきたいと考えています。

(担当課：環境保全課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

#### 問2. 地球温暖化について関心がありますか。(1つ選択)

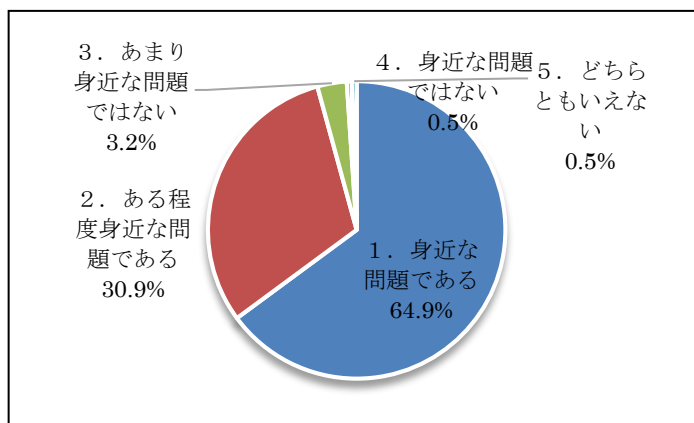
1. 大変関心がある	71人
2. どちらかといえば関心がある	98人
3. あまり関心がない	17人
4. 全く関心がない	1人
5. どちらともいえない	1人
合計	188人



「2. どちらかといえば関心がある」(52.1%)と答えた方が最も多く、「1. 大変関心がある」(37.8%)と合わせて、全体の約9割が、地球温暖化について関心を持たれていることがわかりました。

#### 問3. 地球温暖化は身近な問題だと思いますか。(1つ選択)

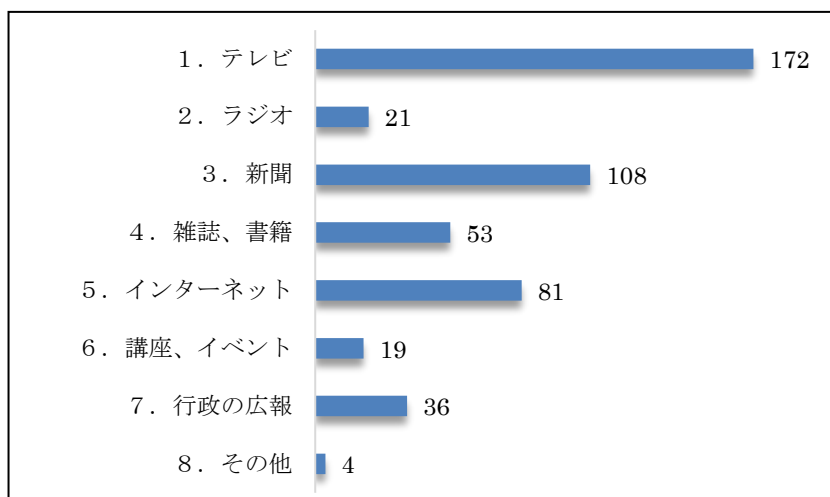
1. 身近な問題である	122人
2. ある程度身近な問題である	58人
3. あまり身近な問題ではない	6人
4. 身近な問題ではない	1人
5. どちらともいえない	1人
合計	188人



「1. 身近な問題である」(64.9%)と答えた方が最も多く、次いで、「2. ある程度身近な問題である」(30.9%)と合わせて、全体の9割以上が地球温暖化を身近な問題だと思われていることがわかりました。

問4. 地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。(複数選択)

1. テレビ	172人
2. ラジオ	21人
3. 新聞	108人
4. 雑誌、書籍	53人
5. インターネット	81人
6. 講座、イベント	19人
7. 行政の広報	36人
8. その他	4人



「1. テレビ」(172人)、「3. 新聞」(108人)、「5. インターネット」(81人)などが、地球温暖化に関する情報を得る手段として多く挙げられています。

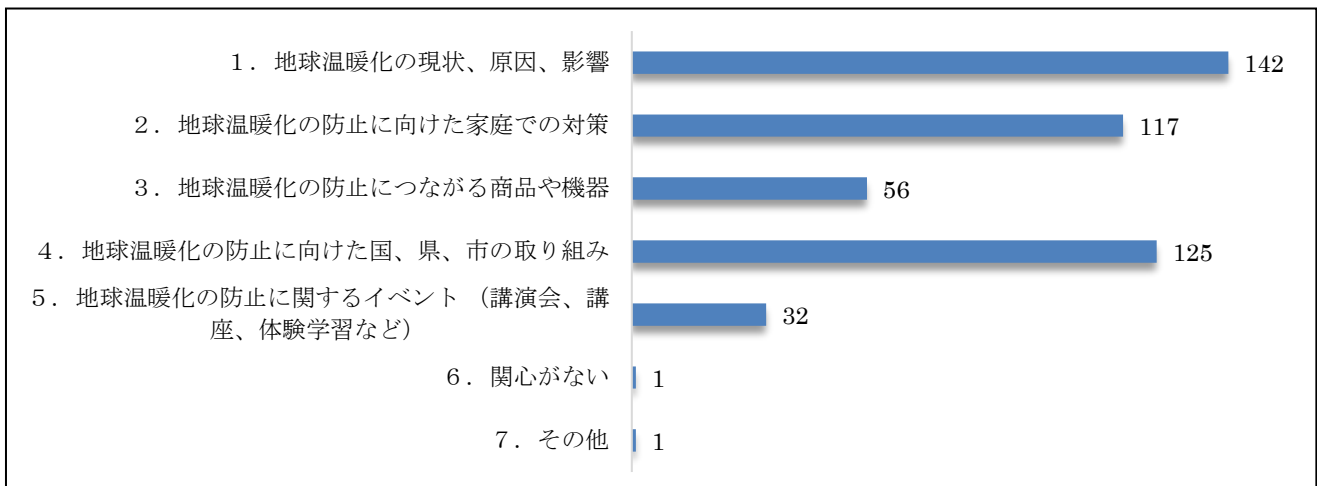
問5. 問4で「8. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・大学などで勉強した。
- ・日々生活しているの体感。暑い日が多く、自分自身が小学生の時の気温を調べて、どれくらい平均温度が上がっているのかを知って、温暖化を実感しています。  
また、南極の氷が溶けたニュースとか見ると、温暖化はかなり進んでいるのかなと感じます。
- ・天文情報
- ・地球温暖化防止のための活動をしている。

問6. 地球温暖化について、どのようなことに関心がありますか。(3つまで選択)

1. 地球温暖化の現状、原因、影響	142人
2. 地球温暖化の防止に向けた家庭での対策	117人
3. 地球温暖化の防止につながる商品や機器	56人
4. 地球温暖化の防止に向けた国、県、市の取り組み	125人
5. 地球温暖化の防止に関するイベント(講演会、講座、体験学習など)	32人
6. 関心がない	1人
7. その他	1人



「1. 地球温暖化の現状、原因、影響」（142人）、「4. 地球温暖化の防止に向けた国、県、市の取り組み」（125人）、「2. 地球温暖化の防止に向けた家庭での対策」（117人）などが、地球温暖化について関心のある事柄として多く挙げられています。

**問7. 問6で「7. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。（自由記入）**

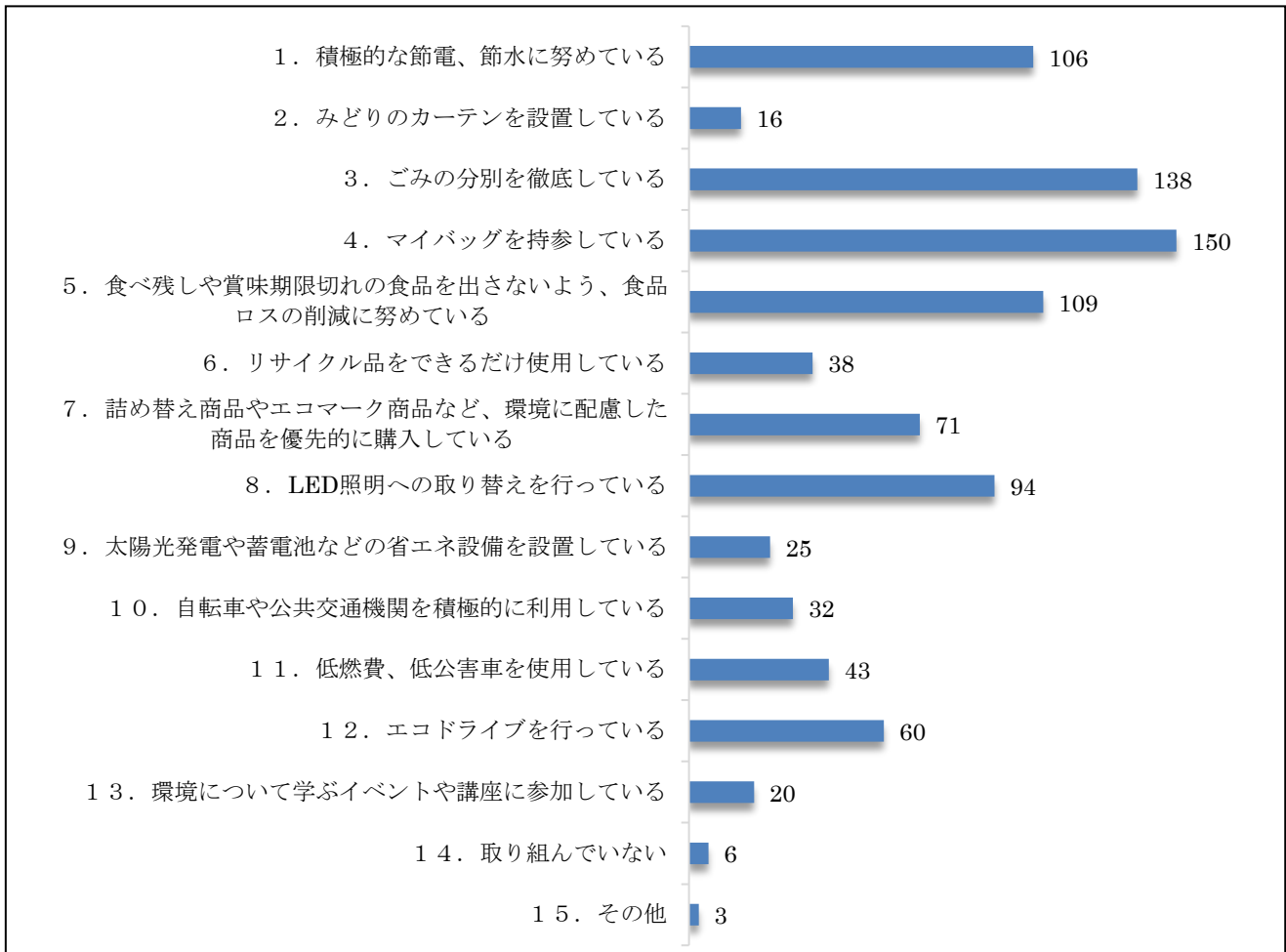
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

・排出ガス規制は他国が作り上げたもので、具体的に有効な手段は色々ある。

**問8. 地球温暖化対策のために日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。（複数選択）**

1. 積極的な節電、節水に努めている	106人
2. みどりのカーテンを設置している	16人
3. ごみの分別を徹底している	138人
4. マイバッグを持参している	150人
5. 食べ残しや賞味期限切れの食品を出さないよう、食品ロスの削減に努めている	109人
6. リサイクル品をできるだけ使用している	38人
7. 詰め替え商品やエコマーク商品など、環境に配慮した商品を優先的に購入している	71人
8. LED照明への取り換えを行っている	94人
9. 太陽光発電や蓄電池などの省エネ設備を設置している	25人
10. 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	32人
11. 低燃費、低公害車を使用している	43人
12. エコドライブを行っている	60人
13. 環境について学ぶイベントや講座に参加している	20人
14. 取り組んでいない	6人
15. その他	3人





「4. マイバッグを持参している」(150人)、「3. ごみの分別を徹底している」(138人)、「5. 食べ残しや賞味期限切れの食品を出さないよう、食品ロスの削減に努めている」(109人)、「1. 積極的な節電、節水に努めている」(106人)などが、地球温暖化対策のために日常生活の中で取り組んでいることとして多く挙げられています。

**問9. 問8で「15. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。(自由記入)**

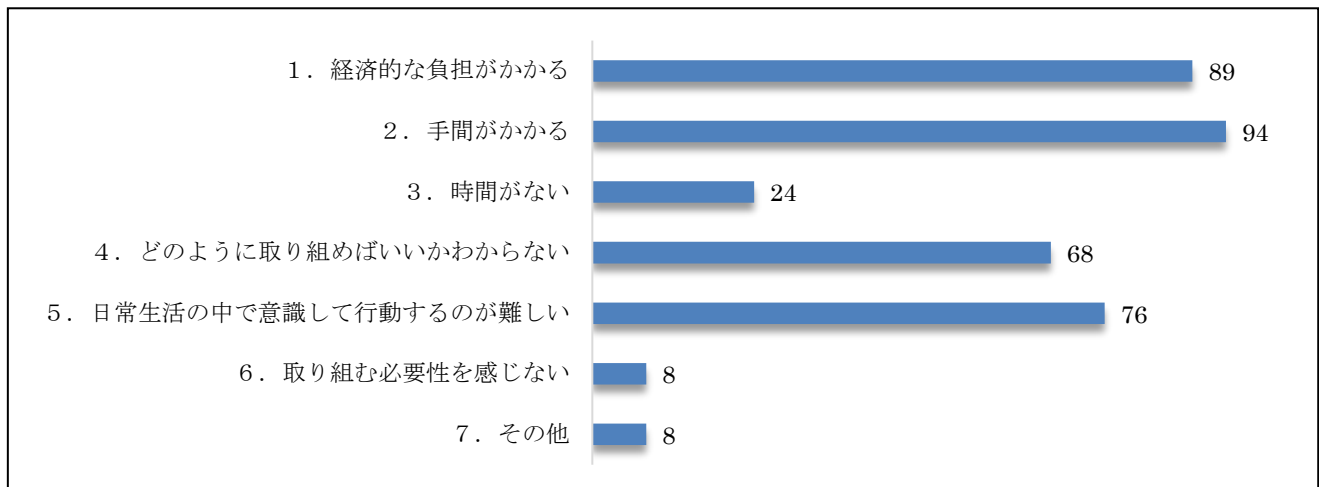
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・健康のためのウォーキングも兼ねて、なるべく歩いて移動するように心がけている。
- ・ウォーキングや通通勤の時のゴミ拾い
- ・夏は朝早く起きて窓を開けて風を通したり、オーニングを利用したり、水を撒いたりしている。冬は服を一枚多く着る、早目に就寝するなどして、暖房を使う時間を短くしている。炊飯器やドライヤーなど電気を多く使う電気製品は時間差で使うように心がけている。

**問10. 日常生活の中で地球温暖化対策に取り組むための妨げになっていることは何ですか。(3つまで選択)**

1. 経済的な負担がかかる	89人
2. 手間がかかる	94人
3. 時間がない	24人

4. どのように取り組めばいいかわからない	68人
5. 日常生活の中で意識して行動するのが難しい	76人
6. 取り組む必要性を感じない	8人
7. その他	8人



「2. 手間がかかる」(94人)、「1. 経済的な負担がかかる」(89人)、「5. 日常生活の中で意識して行動するのが難しい」(76人)などが、日常生活の中で地球温暖化対策に取り組むことの妨げになっている事柄として多く挙げられています。

**問11. 問10で「7. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。(自由記入)**

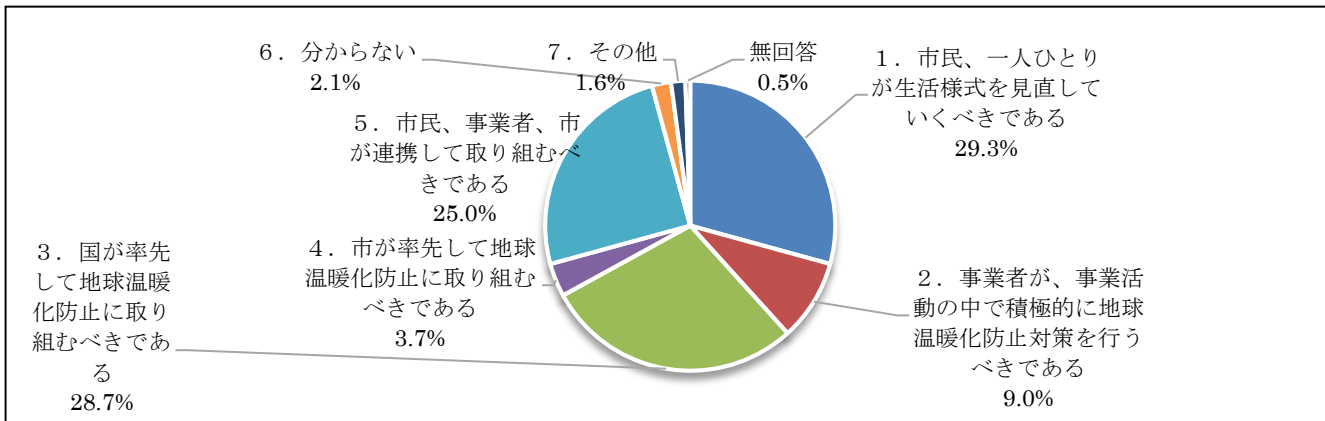
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・家族間でも意識の差が大きく、温暖化に対する危機感が違いすぎる。
- ・7月1日からレジ袋が有料化となりましたが、代わりにマイバッグに詰め込まれているのは、大半が食品トレーなどのプラスチックごみの原料ではないでしょうか。
- ・スーパーやコンビニがプラスチックの包装紙で包まれた商品を供給し続け、私たちが求め続けているので、日々の努力は大海の一滴に等しく感じる。
- ・24時間営業をやめればよい。
- ・関心がない人が多いのだと思う。今すぐにみんなで取り組まなくてはいけない現状と、温暖化対策について具体的にどうしたらよいかを、ラジオや市政だよりで伝えてほしい。
- ・自分でできることはしていると思っているので、妨げになっていると感じているものはない。

**問12. 地球温暖化対策を実施するにあたり、どの主体による取り組みが特に重要だと思いますか。(1つ選択)**

1. 市民、一人ひとりが生活様式を見直していくべきである	55人
2. 事業者が、事業活動の中で積極的に地球温暖化防止対策を行うべきである	17人
3. 国が率先して地球温暖化防止に取り組むべきである	54人
4. 市が率先して地球温暖化防止に取り組むべきである	7人

5. 市民、事業者、市が連携して取り組むべきである	47人
6. 分からない	4人
7. その他	3人
無回答	1人
合計	188人



「1. 市民、一人ひとりが生活様式を見直していくべきである」(29.3%)と答えた方が最も多く、次いで「3. 国が率先して地球温暖化防止に取り組むべきである」(28.7%)、「5. 市民、事業者、市が連携して取り組むべきである」(25.0%)の順となっています。

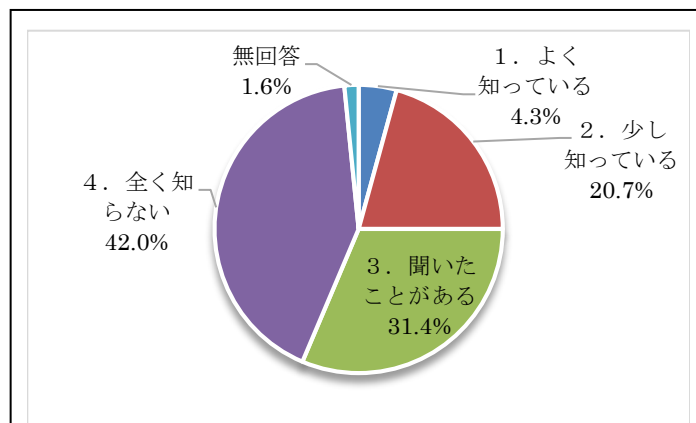
### 問13. 問12で「7. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・日本だけが一生懸命取り組んでも、それをもっと世界に発信して、全世界的に取り組まないと意味がない。
- ・CO2による地球温暖化は1つの説である。温暖化は地球の営みであり、人類にはどうしようもないのではないか。科学的に証明されていないものにお金や労力を使うより、災害対策に使った方がいいのではないか。
- ・便利で豊かな生活を夢見て、化学製品の発展を見ながら働いてきた者としては受け入れがたい。

### 問14. 「新居浜市地球温暖化対策地域計画」を知っていますか。(1つ選択)

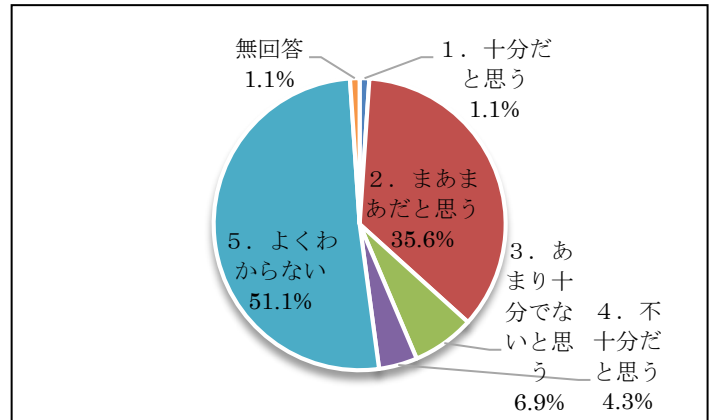
1. よく知っている	8人
2. 少し知っている	39人
3. 聞いたことがある	59人
4. 全く知らない	79人
無回答	3人
合計	188人



「4. 全く知らない」(42.0%)と答えた方が最も多く、次いで「3. 聞いたことがある」(31.4%)、「2. 少し知っている」(20.7%)、「1. よく知っている」(4.3%)の順となっています。

問 1 5. 新居浜市の地球温暖化対策に向けた施策は十分だと思いますか。(1つ選択)

1. 十分だと思う	2 人
2. まあまあだと思う	67 人
3. あまり十分でないと思う	13 人
4. 不十分だと思う	8 人
5. よくわからない	96 人
無回答	2 人
合計	188 人



「5. よくわからない」(51.1%)と答えた方が最も多く、全体の約5割となっています。次いで、「2. まあまあだと思う」(35.6%)、「3. あまり十分でないと思う」(6.9%)、「4. 不十分だと思う」(4.3%)、「1. 十分だと思う」(1.1%)の順となっています、

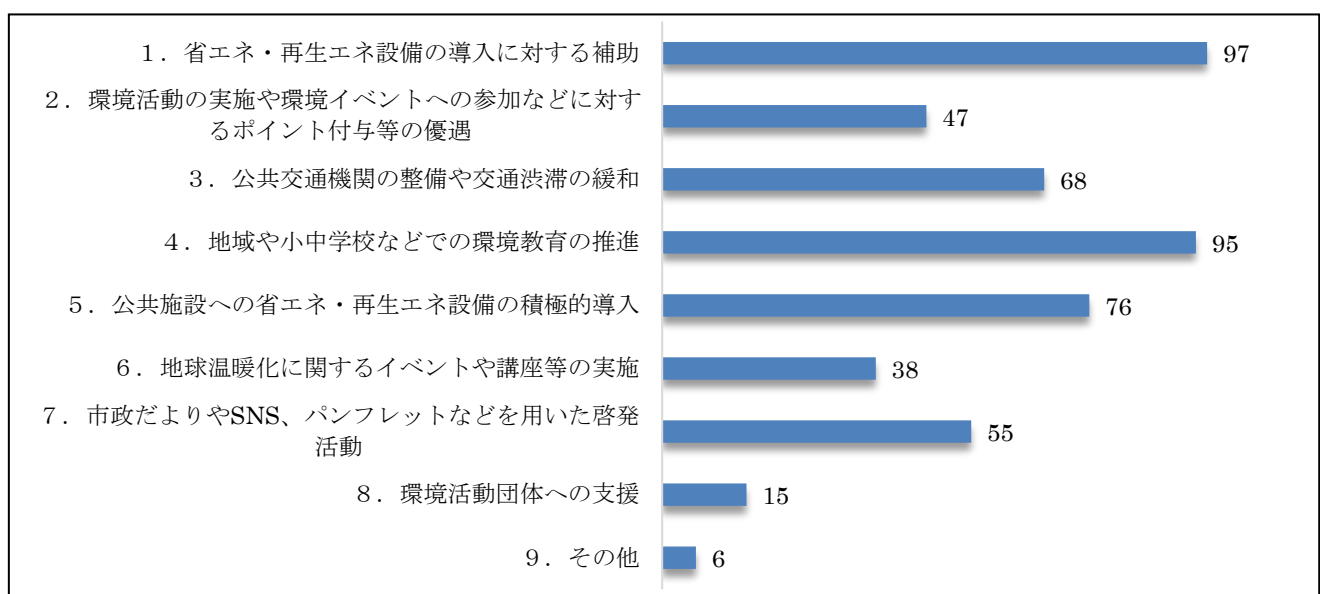
問 1 6. 問 1 5 で「3. あまり十分でないと思う」「4. 不十分だ思う」を選択された方は、できれば具体的に、どのような点が不十分であると思うかご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・私が知らないだけで、色々取り組まれているのかもしれないけれど、新居浜市はごみも無料だし、他市に比べると意識は薄いのかなと思う。
- ・ごみ量の削減が不十分である。
- ・公共交通機関が充実していない。再生可能エネルギーの導入が乏しい。
- ・公共交通が少なく、車社会が定着している。空き家が多く、田畑も散漫な状況で緑化が進んでいない。
- ・市内を走るバスを、どれだけの人が利用しているのだろうか。小さめのバスにするとか、タクシー代を補助する等すれば、排気ガスも減るのでは。利用者の少ない時間は運行しないことにしてもよいと思う。
- ・事業者が出す熱の利用や荒れ放題である山・森等の整備はできていないように思う。自然環境を良くすることは温暖化対策に繋がると考えています
- ・新居浜市が対策していることを認識できていなかった。
- ・市民に周知されていないように思います。もっと広報が必要なのではないでしょうか。
- ・新居浜市独自の取り組みの成果がわからない。
- ・どんなことに取り組んでいるのか、市民が知らない。何に取り組んだらよいのか具体的に示してほしい。
- ・地球温暖化や異常気象が進み、「どうなるのか?」「どうすればよいのか?」といった不安の声が聞こえます。市民が具体的に行動に移して、地球温暖化防止対策に取り組めるような政策がほしいです。
- ・温暖化防止のための対策はたくさんありますが、時として忘れてしまいがちです。例えば、季節ごとに実行しやすいもの10項目を印刷し、市政だよりと一緒に配布するなどして、市民が壁に貼って気に留めることができるようにしては。
- ・子ども世代への啓発が必要なのではないか。
- ・市民一人ひとりの意識が十分とは言えず、自治会等に取り組めることを話し合うとか、実施できることから始めるとか、身近なところから始めるのが大切ではないでしょうか。
- ・テーマを決めてイベントを開催してほしい。

問17. 地球温暖化対策として、新居浜市が今後重点的に取り組んでいく必要があると思うものは何ですか。(3つまで選択)

1. 省エネ・再生エネ設備の導入に対する補助	97人
2. 環境活動の実施や環境イベントへの参加などに対するポイント付与等の優遇	47人
3. 公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和	68人
4. 地域や小中学校などでの環境教育の推進	95人
5. 公共施設への省エネ・再生エネ設備の積極的導入	76人
6. 地球温暖化に関するイベントや講座等の実施	38人
7. 市政だよりやSNS, パンフレットなどを用いた啓発活動	55人
8. 環境活動団体への支援	15人
9. その他	6人



「1. 省エネ・再生エネ設備の導入に対する補助」(97人)、「4. 地域や小中学校などでの環境教育の推進」(95人)、「5. 公共施設への省エネ・再生エネ設備の積極的導入」(76人)、「3. 公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和」(68人)などが、新居浜市が地球温暖化対策として今後重点的に取り組んでいく必要があるものとして多く挙げられています。

問18. 問17で「9. その他」を選択された方は、具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・雇用のためにも、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用、林業(緑化推進)、土壌保全などの活動に継続して取組可能な企業や団体に支援を行う。
- ・100円バスなどの導入により、公共交通網の整備
- ・ペーパーやSNSではなく視覚や聴覚に訴える啓発と、市民性を考えた啓発
- ・温暖化防止対策のために新居浜市は具体的に何を重視して、市民には何を期待しているのかをわかりやすく伝える必要があるのではないのでしょうか。
- ・これから増えるであろう災害への対策

## 問19. 地球温暖化対策について、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

### (自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・身近な地球温暖化対策として、7月からレジ袋の有料化が全国で実施されましたが、新居浜市では数年前から、レジ袋有料化やマイバッグ持参を呼びかけていたことで、環境への積極的な取り組みが評価されました。これからも、他の自治体に先駆けて地球温暖化対策を推進してください。
- ・目につくのは表向きの対策ばかりのような気がします。例えば、公共交通機関の充実や、マナーを守らないごみ排出への対策など、具体的な対策を希望します。
- ・道路にごみのポイ捨てが多いと感じる。ポイ捨て防止の対策があればいいかもしれません。
- ・各家庭の出すごみの分別ができていない。各人の意識の向上が足りないのか？
- ・ごみの分別に関して、燃やすごみの中にプラスチックが入っていることが多いのでは。なぜ正しい分別が必要なのか、市の事情などを説明していくことが大事だと思います。
- ・ごみ拾いのイベントに参加したことがありますが、凄すごみの量にいつも驚きます。
- ・今回、エコバックの件が国の取り組みによって大きく変わったように、法律になってしまえば動く。地球温暖化のためにごみの分別を、と言うけれど、まず分別の仕方がわかりにくい。人によって分別の仕方が違うということは、正しい分別方法が理解されていないということ。広める場、学ぶ場も要るのかも。
- ・省エネ機器（エアコン、冷蔵庫、LEDライト）などの購入・買い替え時に、市からの補助金があったらよいと思う。
- ・マイカーから原付や自転車、公共交通などに乗り換えした場合の優遇制度があってもよいと思う。また、公共交通の運賃が安価であれば、公共交通に乗り換える人は出てきそう。例えば大都市のように、市内のバス運賃が220円均一とかでもいいかもしれない。
- ・公共交通機関の整備が、マイカーの使用を減らす助けにはなると思う。新居浜市ではバスを使いたくても便がない、ルートがない。南北の路線が増えたり、コミュニティバスができると助かる人も多いと思う。自転車道も大分整備されてきたので、そこはありがたい。
- ・地球温暖化については30年以上前から耳にしているが、対策について積極的に取り組んだことがなかった。地域や学校で、改めて啓発活動に取り組んでほしい。
- ・新居浜市で温暖化対策に取り組む計画があることを初めて知りました。市政だよりに掲載してください。
- ・対策活動が市民レベルまで浸透していないのではないのでしょうか。もっと広報をお願いします。
- ・まだ他人事のように思っている人を見受けられるので、市政だより等を利用して、どんな問題で、市がどういう取り組みをしているのかを明確に表してほしいです。
- ・毎日の生活の中で身近なものばかりに関心が行ってしまい、グローバル的な危機は後回しにしてしまいがちである。各個人が、常に危機感を感じるように啓発運動や教育に力を入れてほしい。
- ・地球温暖化防止対策のために、また持続可能な社会実現のために、学校教育・社会教育・生涯教育においてどうすればよいかを皆で考え、行動を起こす必要があると思います。
- ・「ビンは色分けしないといかんよ」など、孫から学ぶこともあります。教育関係の方に感謝をいたします。
- ・もっと市民が、他人事ではなく自分自身のこととして意識を持てるような、楽しみながらできる取り組みやイベントを開催してほしい。
- ・温暖化対策の指数になるものの推移を公表しては。
- ・少しでも役に立つ情報を発信する。
- ・取り組むことの意義を説明した、わかりやすい資料があればよい。

- ・エコライフ通信など、わかりやすくまとめて配布すればよいと思う。「欲しい人はどうぞ」的に市役所などに置いていても、どれだけの人が関心を持って手に取っているのでしょうか。せっかくの活動なのに、広く配布するべきだと思う。
- ・パンフレットなどを用いた啓発活動は紙が無駄だと思う。
- ・問題が大きすぎて、どうすれば良いかまったくわかりません。
- ・昔と比べて、夏は暑くなって住みづらくなってきています。災害や異常気象で、これから子どもたちや孫の時代になったらどうなるのか心配です。一人ひとりの省エネ対策、ごみ減量などの認識を高めていく必要があると同時に、国も経済優先より地球の自然を守る方へも関心を持っていただきたいです。地球は人間だけのものではありません。動植物にも優しい取り組みをしていただきたいです。
- ・地球温暖化は確実に進んでいると思う。しかし、そのためにどのような取り組みをすればよいのか。個人として、市として、県として、国として、今後、国民の英知を集めて議論を重ね、具体的な取り組みを進めて行く必要があると思う。
- ・大きな問題なので国がしっかりとした政策をとることが重要かと思います。国民も一人ひとりがエコバッグ持参など簡単な取り組みから始めて、地球温暖化について意識するきっかけになればよいと思います。
- ・地球温暖化の原因は、私たち人間の今までの生き方が作ってきたものです。CO2の削減や、石油燃料に頼ってきた生活法を変えて行かなくてはいけないと思います。
- ・個人や地方自治体が取り組む事は大事ですが、全地球規模で取り組まなければ温暖化を抑制することは不可能です。
- ・企業の論理では上手くいかないことは明白であり、市民一人ひとりの自覚と行政モデルが絶対に必要である。
- ・誰かがしてくれるのではなく自分です。一人一人の力は小さいかも知れないけれど沢山の人の力が集まれば大きくなる。新居浜一人ひとり運動の推進。
- ・大きなことはできないが、よく考えて小さいことから、できることだけでもするようにしたい。
- ・「新居浜市地球温暖化対策地域計画」をそもそも知らないなので、回答しづらかったです。
- ・まず名称がぬるい。「高温化対策」の名称にすべき。もっと危機感を強くすべきである。
- ・規制強化
- ・気候非常事態宣言を宣言することで、他の宣言都市と連携できるのではないかと思います。
- ・マイバッグ持参や食品ロスの削減は意識的に行っているが、「地球温暖化対策のため」ということを特に考えている訳ではない。
- ・地球温暖化のメカニズム自体、様々な説があると聞いているが、何が実際のところなのか理解できない。
- ・今の地球の現状や、このままだとどうなるか、こうすれば食い止められる、などの具体的な情報や知識が欲しい。
- ・将来のためにも今出来る事を個人、団体、事業者それぞれが認識し、実施して行く事が大事。それが例え小さな事からでも。



<まとめ>

市政モニターの皆さんには、本市における地球温暖化対策の取り組みに対し、貴重なご意見をたくさんいただき、心から感謝申し上げます。

まず、全体の9割もの方が、地球温暖化について関心を持っているだけでなく、それを身近な問題として捉えていることがわかりました。また、多くの皆さんが日常生活において、地球温暖化対策として何らかの取り組みをされており、地球温暖化の現状、原因、影響や家庭での対策、行政の取り組みについて、大きな関心を持っておられることが伺えました。しかしその一方で、本市における地球温暖化対策に向けた計画や施策の内容についての認知度が低いことがわかり、市民の皆さんへのより積極的な周知啓発の必要性を感じました。

日常生活において、地球温暖化対策に取り組むための妨げとなっている大きな要因としては、手間や経済的な負担、日常生活での意識の難しさ、取り組み方法がわからないなどが挙げられており、その他にも、地球温暖化という大きな問題に対する困難感、個々の関心度や認識の落差という課題も浮かび上がりました。これらのマイナス要因を解消するためには、地球温暖化対策への取り組みの重要性や緊急性を皆さんにしっかりと周知するとともに、取り組みの手段について分かりやすく伝えることが重要であると考えます。

本市が今後重点的に取り組む必要がある地球温暖化対策として、皆さんから重要であるとのご意見を多くいただいたのが、省エネ・再生エネ設備導入に対する補助や公共施設への積極的導入、地域や小中学校での環境教育の推進、公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和でした。これらのご意見からも、地球温暖化対策の取り組みには地球温暖化防止のための技術の導入、一人ひとりの行動や意識を高めるための環境教育、低炭素な社会基盤の形成など幅広い対策が必要であることがわかります。

今回のアンケートは、市民の皆さんの地球温暖化に関する意識を調査し、現在見直しを行っている「新居浜市地球温暖化対策地域計画」に活用させていただき目的で実施いたしました。アンケートの結果からは、地球温暖化対策の実践には市民一人ひとりの取り組みが大切であり、市民、事業者、市が連携して取り組まなければならないとの認識が伝わってきました。いただいたご意見につきましては、計画の改定に反映させていただくとともに、本市における地球温暖化防止対策の取り組み強化に向けた施策に取り入れてまいります。今後とも本市の地球温暖化対策に関する取り組みに対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(担当課：環境保全課)